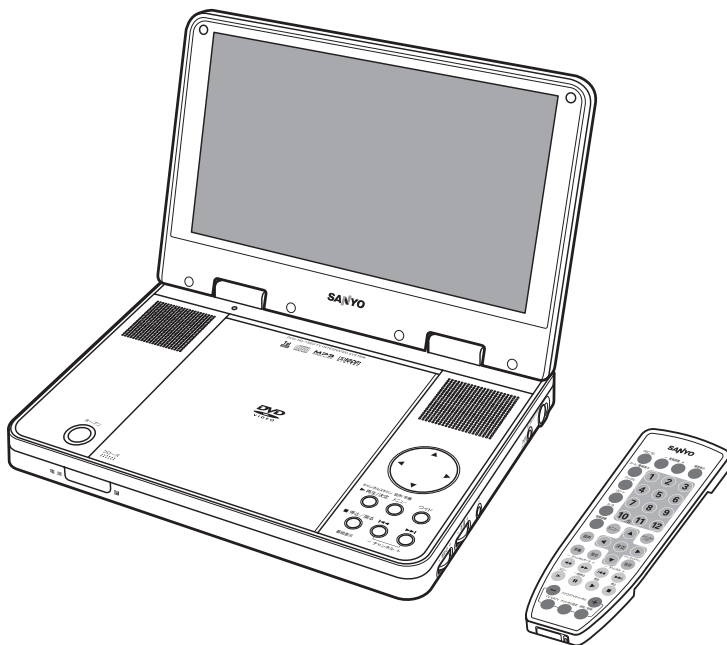
取扱説明書

ポータブルDVDプレーヤー

品番 DVD-HP900ND

保証書付 裏表紙にあります

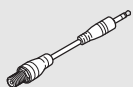
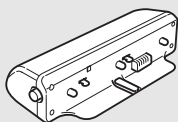
このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございました。
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。
なお、この取扱説明書は保証書付になっています。保証書は「お買い上げ日」、「販売店」などの記入を必ず確かめ、販売店よりお受け取りください。

取扱説明書には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の( )内の記号が
色記号です。

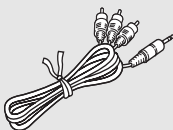
本機を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

もくじ

付属品をお確かめください。

電源アダプター 1
（コード長約1.8m）

ヘッドホン 1
（インナーイヤー型）

アンテナ変換コード 1

バッテリーパック 1
（7.2 V　ニッケル水素電池）

カーバッテリーアダプター 1
（コード長約1.7m 12V車専用）

AVコード 1
（オーディオ・ビデオ入出力ケーブル）
（コード長約1.7m）

リモコン（RB-HP900ND） 1
CR2025リチウム電池が、リモコンに入っています

本書（取扱説明書・保証書付） 1

安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

■ 絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例

△ の記号は「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。
⃠ の記号は「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。
● の記号は「しなければならない行為」を示します。

お願い

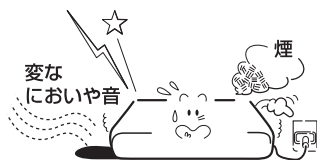
「安全上のご注意」 のイラストと本機とでは若干形状等が異なることがありますがご了承ください。

⚠ 警告

万一、異常や故障が発生したときはすぐに使用をやめてください

次のようなときは、そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチで電源を切り、電源アダプターをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対おやめください。

- **煙が出ている、変なにおいや音がする（異常状態）**
  煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- **本機の内部に水などが入った**
- **異物が本機の内部に入った**
- **映像や音が出ないなど（故障状態）**
- **倒したり落としたりして、キャビネットを破損した**

はじめに

警告

電源について

■ 電源アダプター接続時の注意

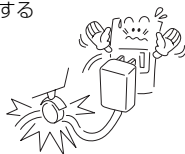
次のことをお守りください。誤った使い方をすると発熱などにより、火災の原因となります。

- 電源アダプターはコンセントへ確実に接続する
- 電源アダプターのコードは束ねたまま使用しない
- たこ足配線はしない

■ 電源アダプターのコードを傷つけない

無理な使いかたをすると電源アダプターのコードが破損しますので、次のようなことはしないでください。

- 電源アダプターのコードの上に重いものを乗せる
- 途中でつぎ足したりして加工する
- 無理に折り曲げる
- 傷をつける
- ねじったり、引っ張ったりする
- 熱器具に近づける

禁　止

電源アダプターのコードが傷んだときは、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■ 定期的に点検を

設置時から1年に1度は電源コンセントと電源アダプターの間にホコリが付着していないか、電源アダプターのコードに傷みがないか、電源アダプターが抜けかけていないかなどを点検してください。

指　示

■ 雷が鳴り出したら

電源アダプターやアンテナ線には絶対に触れないでください。感電の原因となります。

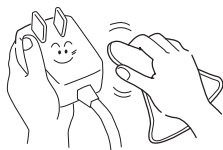
接触禁止

■ バッテリーパックは正しく使う

次のようなことはしないでください。事故や故障、破裂、発火、けがの原因となります。

- バッテリーパックの端子を針金やヘアピンなどで接続しない
- 専用バッテリーパック以外は使用しない
- 指定された充電方法以外では充電しない
- バッテリーパックを加熱、分解、ショートさせたり、火の中に投入したりしない
- バッテリーパックを誤った方法で取り付けない

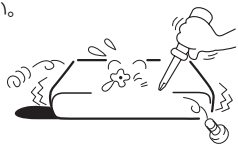
正しくしっかりと取り付けてください。

禁　止

警告

使用方法・設置

■ 分解しない

本機を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となります。内部の点検、調節、修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

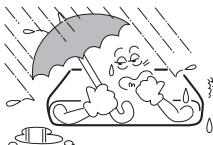
分解禁止

■ 本機の上に水などの入った容器を置かない

内部に水などが入った場合、火災、感電の原因となります。

禁　止

■ ぬらさない

- 本機をぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
- 風呂場、水辺、雨天の中などでは使用しないでください。

水ぬれ禁止

■ 航空機内で使用しない

禁　止

本機が出す電磁波により航空機内の計器に影響を与えるおそれがあります。航空機会社の指示にしたがってください。

■ 異物を入れない

ディスクテーブルなどから、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。（特に小さなお子さまのおられるご家庭はご注意ください。）火災、感電の原因となります。

禁　止

■ 布をかぶせない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。

- 本機をあお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に置く
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置く

禁　止

■ 運転中はご使用にならないでください

事故の原因になります。運転者は道路交通法を守って安全運転してください。

- 運転者は走行中に操作しない
- 運転中に画面を見ながら運転しない

指　示

- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く

■ 本体底部の熱に注意

指　示

ひざの上など、人体の表面に本体の底部を密着させないようにご使用ください。底部は多少熱くなりますので服の上からでも長時間密着されていますと低温やけどの恐れがあります。

■ ボタン電池を乳幼児の手の届くところに置かない

禁　止

誤って飲み込むと、窒息したり、中毒の原因となります。万一、飲み込んだと思われる場合は、すぐに医師にご相談ください。

⚠ 注意

■ 電源アダプターを抜くときの注意

ぬれ手禁止

電源アダプターを抜く

- ぬれた手で電源アダプターをさわらないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源アダプターを抜くときは、アダプター、プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■ 設置場所に注意

禁　止

- 湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

■ 本機を不安定な場所に置かない

禁　止

平らで水平な場所に設置してください。不安定な場所に置きますと、倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 本機の上に重いものを置かない

禁　止

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、本機の上に乗らないでください。

■ 持ち運びの注意

電源アダプターを抜く

ディスクおよびSDカードを取り出して電源を切り、外部接続をすべてはずしてからおこなってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■ 変形やひび割れしたディスクは使用しない

禁　止

変形、ひび割れ、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。
また、セロハンテープやレンタル店のラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるディスクも使用しないでください。

■ ヘッドホンの音量に注意

音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ 音量に注意

禁　止

- 電源を切るときは音量を小さくしておいてください。電源を入れたとき、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

■ カーバッテリーアダプターを本機以外に使用しない

禁　止

発煙、火災、感電の原因となります。

■ 他機器との接続について

テレビ、ビデオ、オーディオ機器などを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続してください。電源を入れたまま接続すると、感電、けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

■ 電磁波の発生する機器に近づけない

禁　止

携帯電話、充電器や電磁波の発生する電気製品に近づけないでください。電磁波のためにノイズの影響が生じることがあります。

■ クレジットカードなどをスピーカーに近付けない

禁　止

本機のスピーカーには強力な磁石を使用していますので、時計、クレジットカード、磁気定期券、カセットテープ、ビデオテープなどは、スピーカーのそばに置かないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。

■ 長期間（1ヶ月以上）使用しない場合やお手入れの際の注意

電源アダプターを抜く

安全のため電源アダプターをコンセントから抜いてください。

■ 液晶画面を長時間連続して見ない

禁　止

液晶画面を長時間連続して見ると、目が疲れたり、視力が低下する恐れがあります。液晶画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じた場合は、すぐに本機の使用をやめて休息してください。休息しても不快感や痛みがとれない場合は、ただちに医師に相談してください。

■ 液晶画面を強く押したり、強い衝撃を与えない

禁　止

液晶画面が割れた場合は、画面内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症などの原因となることがあります。

- 万一口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目にはいったり皮膚に付着した場合は、すぐにきれいな水で充分に洗い流し、医師に相談してください。

■ 内部の掃除について

1年に1度は内部の掃除について、お買い上げの販売店にご依頼ください。内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。

■ 電池（リモコン用）使用上の注意

電池の使い方を誤ると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。次のことをお守りください。

- CR2025リチウム電池以外は使用しない
- 極性（⊕と⊖）に注意し、表示通りに入れる

禁　止

- 電池を充電、加熱、分解したり、火や水の中に投入しない
- ショートさせない

- 長期間（1ヶ月以上）使用しないときは、電池を取り出しておく

もし、液もれが起こったときは、電池ケースについた液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

地上デジタル放送への対応について

- 地上デジタル放送の開始にともない、現在の地上アナログ放送のチャンネルが変更される場合があります。その際には、受信チャンネルの設定を変更する必要があります。

地上アナログ放送からデジタル放送への移行について

- 地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログ放送は2011年7月までに、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の法令によって定められています。

使用上のお願い

- 再生中に近くのAV機器の画像や音声に悪影響が出ることがあります。その場合は、AV機器から離して設置してください。
- 本機の近くでヘアスプレーや加湿器を使用しないでください。レンズがくもることがあります。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色など塗装の劣化につながります。
- 長い時間ご使用になると底部が熱くなることがありますが、故障ではありません。
- 長期間ご使用にならないときは、ディスクおよびSDカードを取り出し、電源を切ってください。

結露(露つき)のご注意

冷たい水をコップに注ぐと表面に水滴がつくように、本機内部に水滴がつくことを、結露(露つき)といいます。結露が起きた状態でのご使用は、ディスクや本機の破損の原因になることがあります。
以下のような場合にご注意ください:

— 本機を寒いところから暖かい部屋へ移動したとき
— 部屋を急に暖めたり冷やしたりしたとき
— 本機に直接、冷風をあてたとき
— 湿気の多い場所で使用したとき

結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください。ディスクおよびSDカードを取り出し、約2~3時間放置したあと、ご使用を開始してください。

液晶画面について

カラー液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、一部に常時点灯する画素や点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、少量に抑えるよう管理していますが、現在の最先端技術でもなくすことは困難ですのでご了承ください。

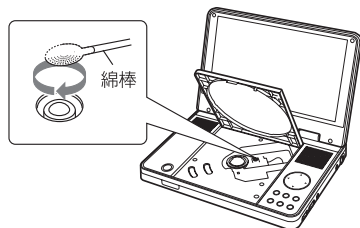
本機のお手入れについて

■ 警告

安全のために、お手入れの前には必ず以下をおこなってください。

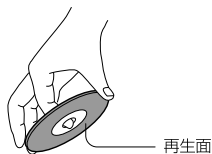
- 電源アダプターやカーバッテリーアダプターを本機からはずしてください。
- **電源**スイッチを「切」にしてください。

■ 美しい画像をお楽しみいただくために

- 1000時間をめどに点検をおすすめします。本機は高精度な技術で構成された精密機器です。温度や湿度、ほこりなどにより、ピックアップレンズやディスク駆動部が汚れ、磨耗し、画質が損なわれます。お買い上げの販売店にご相談ください。
- ピックアップレンズの汚れは、音とびや画像の乱れの原因になります。以下のようにクリーニングしてください:
  — きれいな空気を吹きつけて取り除く。
  — 指定のクリーニングキット(**DVDクリーニングキット、サービス対応品。注文品番614 330 6900**)を用い、綿棒などで軽くふき取る。
  指定以外のクリーニングキットはご使用にならないでください。レンズを破損することがあります。

■ キャビネットやディスプレイの汚れ

- 柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジンやシンナーなどは使用しないでください。変色など塗装の劣化の原因になります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

ディスクの取り扱い

再生面には手を触れないでください。ディスクに汚れや傷がついていると、画質や音質が低下したり、再生できなくなったりすることがあります。

ディスクは必ずケースに入れて保管してください。また、直射日光の当たる場所や湿度の高い場所、ほこりの多い場所には保管しないでください。

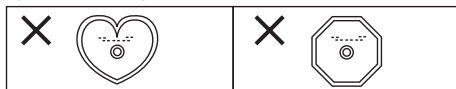
■ ディスクのお手入れについて

ディスクが汚れたときは、柔らかい布でディスクの中心から外側に向かって軽くふき取ってください。

シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

ご注意

- ディスクに紙やシールを貼らないでください。
  また、セロハンテープやレンタル店のラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるディスクは使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- ディスクが正しい位置に置かれていないと、ディスクに傷をつけたり故障の原因になることがあります。
- こんなときに音とびを起こしますので、ご注意ください。
  — 本機に強い衝撃を与えたとき
  — 薄い板の上など、振動しやすい場所に置いたとき
  — ディスクの内容によって音とびを起こすことがあります。その場合は音量を下げてお聞きください。
- 市販のCDスタビライザは使用できません。
- ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

(特殊形状CDの例)

お使いになる前に

再生できるディスク

本機では下記のディスクが再生できます。

	マーク（ロゴ）	記録内容	ディスクの大きさ	最長再生時間
DVDビデオ	DVD VIDEO	音声＋映像	12cm	片面ディスク 約4時間
				両面ディスク 約8時間
			8cm	片面ディスク 約80分
				両面ディスク 約160分
音楽用CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音声	12cm	74分
			8cm	20分
CD-R/CD-RW	COMPACT disc Recordable COMPACT disc ReWritable	MP3 JPEG	12cm 8cm	書き込み内容に準じます
DVD-R	DVD R	ビデオモード	12cm 8cm	書き込み内容に準じます
DVD-RW	DVD RW	ビデオモード VRモード CPRM	12cm 8cm	書き込み内容に準じます

ご注意

- 2層（ダブルレイヤー）のDVD-R/RWやDVD+R/RWとDVD-RAMディスク、Dual Disc、ビデオCDは再生できません。
- パソコンで記録したDVD-R/RWやCD-R/RWは本機で再生できない場合があります。
- 再生時間期限付きディスクを視聴される場合、ディスクによっては正常に再生できない場合があります。
- DVDレコーダーで記録されたDVD-R/RWは記録状態によっては再生できない場合があります。
  ご使用のDVDレコーダーの取扱説明書をお読みください。

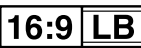
ちょっとこれを！

- ビデオフォーマットで記録されたDVD-R/RWディスクは、ファイナライズ処理されたものに限り再生が可能です。
- DVD-RWのVRフォーマット対応DVDディスクを再生できます。（ファイナライズ済みのディスクに限ります。）
- BS、地上波デジタル放送などの「一回だけ録画可能（コピーワンス）」番組を記録したディスクの再生は、CPRM対応のDVD-RWにDVD VRフォーマットで記録されたものに限り可能です。（ファイナライズ済みのディスクに限ります。）
- CD-R/RWは音楽用CDフォーマット、MP3形式の音楽データ、またはJPEGの静止画像が記録されたものに限り再生が可能です。ただし、記録状態によっては再生できないディスクがあります。
- **コピーガード付きCD再生について**
  CD規格に準拠しない「コピーガード付きCD」などのディスクについては、当社としては、CD再生機器における再生の保証は致しかねます。

再生できるSDカード

本機では以下のSDカードが再生できます。

	マーク（ロゴ）	容量
SDカード	SD	16MB～2GB

- MMC（マルチメディアカード）は動作保証いたしておりません。
- miniSDカード、microSDカードを本機で利用するときは、変換アダプタ（市販品）が必要です。
- SDカード/miniSD™カードはSDアソシエーションの登録商標です。
- SDHC（4GB）以上の カードは利用できません。
- SDロゴは登録商標です。

ちょっとこれを！

- SDカードでは、MP3形式の音楽データ、またはJPEGの静止画像が記録されたものに限り再生が可能です。ただし、記録状態によっては再生できないSDカードがあります。

つづく

ディスクやパッケージのマークについて

DVDのディスクやパッケージには下の表のようなマークが表示されています。それぞれのマークはディスクに記録されている映像・音声の数や、使える機能を表しています。

マーク	意味
3	音声が記録されている数を表します。例えば数字が「3」の場合、3種類の音声（英語/スペイン語/日本語など）が記録されています。
2	字幕の数を表します。例えば数字が「2」の場合、2種類の字幕（英語/日本語など）が記録されています。
3	アングル数を表します。DVDでは、角度（アングル）の異なる複数のカメラで撮影したシーンを、好みのアングルを選んで再生できるディスクがあります。
16:9 LB ビスタサイズ シネマスコープサイズ	選択可能な画像アスペクト比を表します。DVDディスクには、映すテレビがワイドテレビか普通のテレビかによって、画像を切り換えられるものがあります。
2	再生可能なリージョンコードを表します。（右記の「DVD再生時の機能や操作について」を参照ください。）

DVD再生時の機能や操作について

DVDディスクによっては、制作者の意図により再生状態が決められています。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生するため、本機で設定した機能が働かない場合や、本機の操作が制約される場合があります。
DVDディスクの機能や操作について、くわしくはディスクに付属の取扱説明書をお読みください。

本機のリージョンコードは「2」です。
リージョンコードが「2」を含む、または「ALL」のDVDディスクは本機で再生することができます。

タイトル、チャプター、トラックについて

DVDは、**タイトル**という大きい区切りと、**チャプター**という小さい区切りに分かれています。
音楽用CDは、**トラック**で区切られています。

例：DVD

例：音楽用CD

それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順に番号がふられています。これらの番号を**タイトル番号**、**チャプター番号**、**トラック番号**といいます。
ディスクによっては、各々の番号が記録されていないものもあります。

お使いになる前に

MP3について

MP3とは、MPEGオーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮された音楽データです。MP3ファイルは「.mp3」という拡張子が付いた音楽データファイルのことを言います。

JPEGについて

JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルの保存形式（フォーマット）の一種です。JPEGファイルは「.jpg」という拡張子が付いた画像ファイルのことを言います。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。

- 使用条件は、場合によって異なりますので、くわしい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC) におたずねください。

  JASRAC 本部 TEL : 03-3481-2121
  FAX : 03-3481-2150
  URL http://www.jasrac.or.jp/

本機は、アメリカ合衆国特許権と知的所有権上保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの許可が必要です。許可がない場合は家庭用およびその他の一部の観賞用に制限されます。分解したり、改造することも禁止されています。

この取扱説明書の内容について

- 性能や操作性向上のため、製品仕様の一部が変更となることがあります。その場合は製品自体の仕様が優先されます。
- 本書は、本機の基本的な操作のしかたを、リモコンの操作主体で説明しています。本体の同じ、または似た名前のボタンでも同じように操作できることがあります。
- DVDの特長として、ディスクによっては、いろいろな機能や操作ができるものがあります。そのため、本書の内容と操作手順が一部異なったり、違う操作手順が画面に表示されることがあります。このような場合は、画面に表示される操作手順にしたがって操作してください。

操作中に「 ⊘ 」と画面表示されることがあります。これは、本書で説明されている操作方法であっても操作ができないことを表しています。

DVD CD DATA について

本書では、機能ごとにお使いになれるディスクの種類を以下のマークで表しています。

DVD ： DVDでお楽しみいただけます。

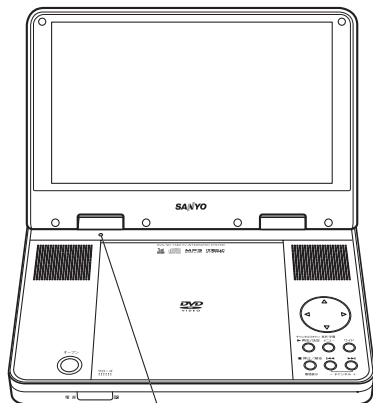
CD ： 音楽用CDでお楽しみいただけます。

DATA ： MP3またはJPEG形式のデータが記録されているCDおよびSDカードでお楽しみいただけます。

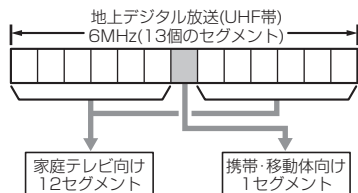
音量にご注意ください

DVDや音楽用CDおよびSDカードを再生する前に、音量を下げてください。ディスクおよびSDカードにより記録されている音量レベルは異なります。音量を上げて再生したあと、そのまま他のディスクおよびSDカードを再生すると大きな音が出ることがありますのでご注意ください。DVDの場合、5.1ch、2chなどの出力モードにより音量レベルが変わることがあります。通常より音量が小さいことがありますが、本機の故障ではありません。

ちょっとこれを!

● 画面表示中、スイッチを押すと画面が暗くなります。ディスプレイを閉じることでスイッチが押され、画面が消えるようになっています。

地上デジタル放送「ワンセグ」について

● ワンセグは、地上デジタル放送の電波の一部を使用して、携帯電話などの小型機器でもご家庭と同じようにテレビやデータ放送を見ることができる携帯・移動体向けサービスです。

● 「ワンセグ」とは地上デジタル放送の電波の約6MHzの帯域を13個のセグメントに分割し、その1つのセグメントを利用して放送されることから、ワンセグと呼ばれるようになりました。

● 地上デジタル放送の「ワンセグ」は、2006年4月1日から三大広域圏(都市圏)と、13の県の放送局で始まりました。なお、NHKの一部の放送局の「ワンセグ」では、しばらくの間、地域向け放送時間(1日2時間程度)に他の地域向けの番組が流れます。(試験電波)

● ワンセグ放送は全国で放送されていますが、放送局や地域によって受信できない場合もありますので、ご使用になられる地域の放送局へお問い合わせください。

● 本機はデータ放送および緊急警報放送の受信には、対応しておりません。

● ワンセグは携帯用の放送のため、ポータブルDVDプレーヤーの画面に映すと多少画像が粗くなります。

● 「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
社団法人 デジタル放送推進協会(Dpa)
http://www.dpa.or.jp/

各部のなまえ

本書では基本的にリモコンでの操作を中心に説明しています。

リモコンと同じまたは似たなまえの本体のボタンは、操作のしかたも同じです。

● 表示例として使用している表示画面については、実際の画面と異なる場合があります。

前　面

ディスプレイ
スピーカー
▲/▼/◀/▶(方向)ボタン
ディスクカバー
音声/字幕
メニューボタン
チャンネルスキャン
▶再生/決定ボタン
ワイドボタン
I◀◀ ▶▶I (スキップ)
－チャンネル＋ボタン
オープンボタン
電源インジケーター
リモコン受光部
■ 停止/戻る
番組表示ボタン

右　側　面

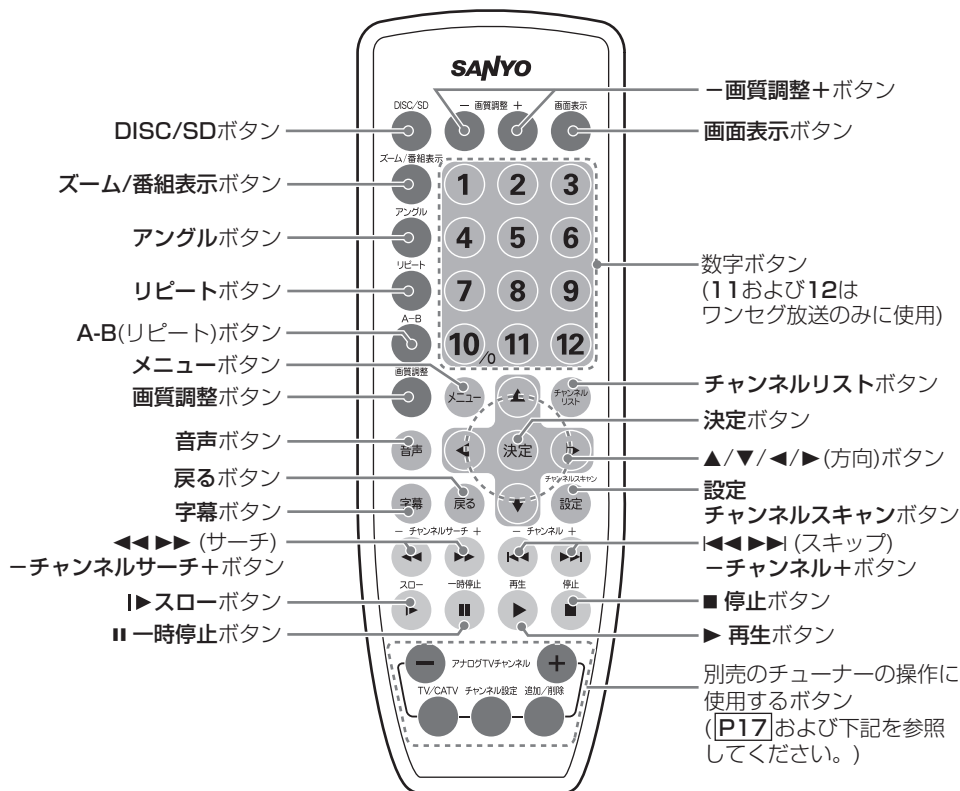
左　側　面

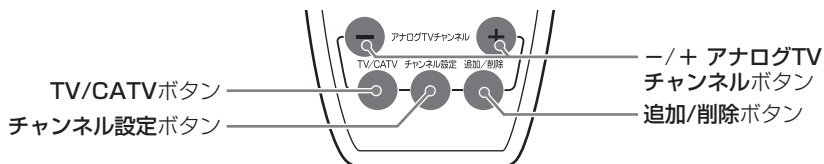
本書では基本的にリモコンでの操作を中心に説明しています。

SANYO

DISC/SDボタン
ズーム/番組表示ボタン
アングルボタン
リピートボタン
A-B(リピート)ボタン
メニューボタン
画質調整ボタン
音声ボタン
戻るボタン
字幕ボタン
◀◀ ▶▶ (サーチ)
－チャンネルサーチ＋ボタン
I▶スローボタン
II 一時停止ボタン

－画質調整＋ボタン
画面表示ボタン
数字ボタン
(11および12は
ワンセグ放送のみに使用)
チャンネルリストボタン
決定ボタン
▲/▼/◀/▶(方向)ボタン
設定
チャンネルスキャンボタン
I◀◀ ▶▶I (スキップ)
－チャンネル＋ボタン
■ 停止ボタン
▶ 再生ボタン
別売のチューナーの操作に
使用するボタン
(P17および下記を参照
してください。)

はじめに

ちょっとこれを!

- 下図ボタンは、本機に別売のチューナーを接続して、テレビの視聴操作に使用するボタンです。
- 本機だけで使用する場合は、これらのボタンは使用しません。
- くわしくは、接続するチューナーの取扱説明書をご覧ください。

ご使用前のお願い

本体の**オープン**ボタンを押してディスクカバーを開け、中の保護シートを取り出してください。

外部の機器と接続する

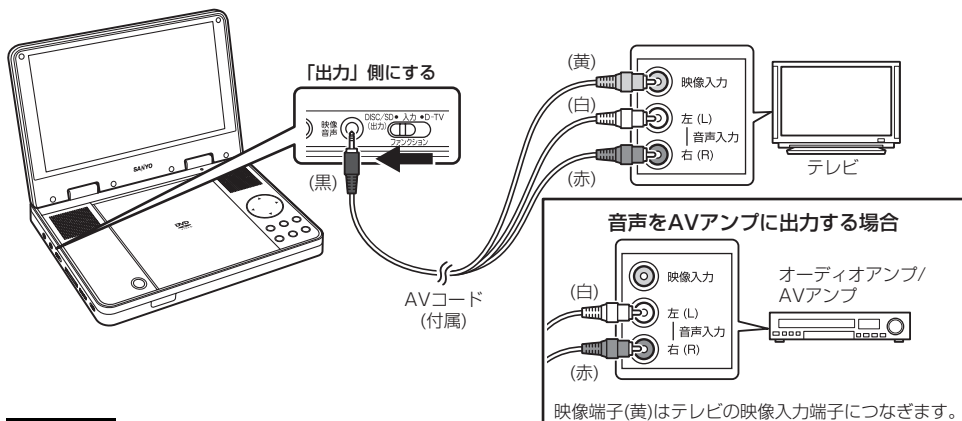
以下のように本機と他の機器を接続して再生することができます。くわしくは、接続する機器の取扱説明書と併せてご覧ください。

■ 付属のヘッドホン（インナーイヤー型）を接続するには

本体の 🎧（ヘッドホン）端子に接続します。ヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーからは音が出ません。

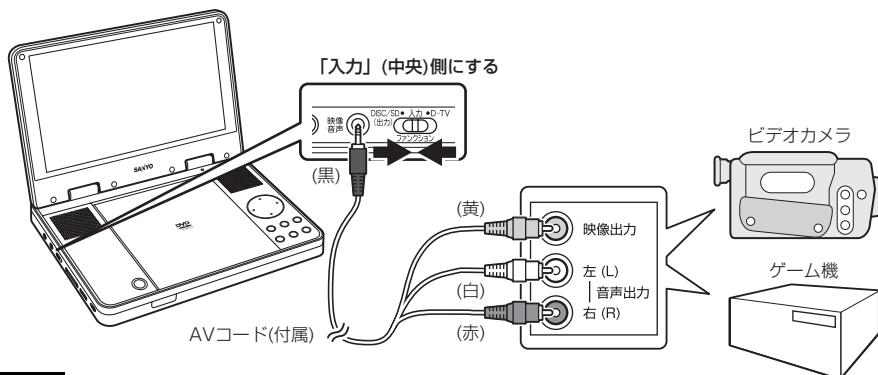
- 大きな音量で長時間お聞きになると、聴力に悪影響が出ることがありますのでご注意ください。
- ヘッドホンは 🎧（ヘッドホン）端子以外には接続しないでください。

テレビやAVアンプに接続する

本機で再生した映像や音声を、テレビやAVアンプに出力して楽しむことができます。
付属のAVコードを使って本機の**映像-音声**端子をテレビの映像入力端子と音声入力端子（またはAVアンプの音声入力端子）に接続し、本機の**ファンクション**スイッチを「DISC/SD（出力）」側に合わせてください。

ご注意

- 設置のしかたにより、テレビに出力した映像に色ムラが出ることがあります。その場合は、本機をテレビから離してください。
- 地上デジタル放送（ワンセグ）の受信画像および音声を外部出力することはできません。

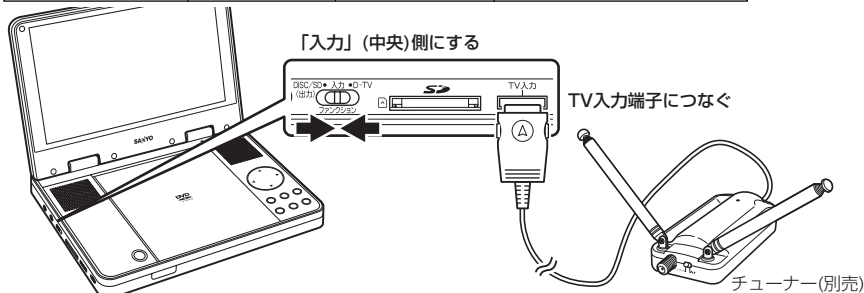
ゲーム機やビデオカメラとの接続

ゲーム機やビデオ一体型カメラなどと接続すれば本機をモニターとして使用することができます。
本体の**ファンクション**スイッチを「入力」(中央)に合わせてください。
(下記の別売のチューナーを接続していれば、接続を外してください 。)

ご注意

● 映像信号がPAL方式の場合、本機画面には正常な映像は表示されません。

別売のチューナーとの接続

別売のチューナーを使って、地上アナログ放送を屋外でも屋内でも視聴できます。
本体の**ファンクション**スイッチを「入力」(中央)に合わせてください。
くわしくは、接続するチューナーの取扱説明書をご覧ください。

品名	品番	地上アナログ放送	地上デジタル放送(ワンセグ)
ワンセグチューナー	DVF-DTV100	○	○
テレビチューナー	DVF-TV1	○	×

ご注意

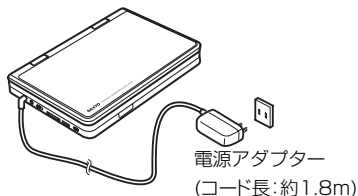
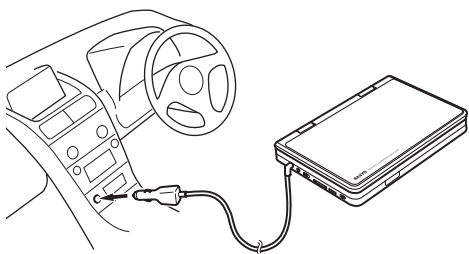
● 別売のワンセグチューナーDVF-DTV100では、地上アナログ放送と地上デジタル放送(ワンセグ)を視聴できます。また、ステレオ音声はもちろん副音声の放送も聞くことができます。
● 別売のテレビチューナーDVF-TV1では、地上アナログ放送を視聴できます。地上アナログ放送を視聴時の音声はモノラル(主音声)です。ステレオ音声や副音声を聞くことはできません。
● 別売のチューナーを接続した場合、 テレビの受信画像･音声は外部出力できません。
● テレビの受信状態が悪い場合は、受信画像･音声はでませんが、故障ではありません。
● ダイバーシティアンテナは接続できません。

電源と準備

電源コードの接続

室内の電源に接続するには

車内の電源に接続するには

カーバッテリーアダプター(コード長：約1.7m)

- 電源アダプター、カーバッテリーアダプターを抜き差しするときは、本体の**電源**スイッチを「切」にしてからおこなってください。ディスクに傷がついたり故障の原因となります。

カーバッテリーアダプターについて

■ 安全運転のために

- 本機を運転中に使用しないでください。運転に支障をきたし、違法です。
- 運転に支障をきたす可能性のあるときはご使用をおやめください。ご使用になる場合には、十分にご注意ください。

■ 警告

- 日が当たる場所や暖房器具の近く、窓を閉めた車両などに放置されると、本機のキャビネットが曲がったり、故障したりすることがあります。
- 車のダッシュボード上などに設置して使用しないでください。走行中に使用してディスクが傷付いても保証はできません。

ご注意

- 付属のカーバッテリーアダプターは、DC12ボルトマイナス(㊀)アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車(DC24V車)には使用できません。火災や故障の原因となります。
- 付属のカーバッテリーアダプター以外のアダプターを使用しないでください。故障の原因になります。
- ご使用の前に、必ずシガーライターソケットをきれいにしてください。ソケットの中が灰やほこりで汚れていると、接触不良により接続部が熱くなることがあります。
- ご使用のあとは、カーバッテリーアダプターのプラグを、本機とシガーライターソケットの両方から抜いてください。
- カーバッテリーアダプターは、カーラジオや車内のラジオの受信を妨害することがあります。その場合は、アダプターをはずすか、アダプターをラジオから離してください。
- 車種によっては、カーバッテリーアダプターが取り付けられない場合があります。

■ ヒューズの交換について

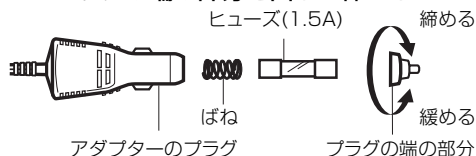
カーバッテリーアダプターを使っても本機が動作しないときは、ヒューズが切れていないか確認してください。ヒューズが切れている場合は、以下の手順で交換してください。

1 **シガーライターソケットからアダプターのプラグをはずす**

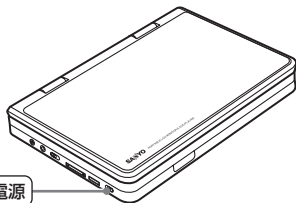
2 **プラグの端の部分を回してはずす**

3 **切れたヒューズを取りはずす**

4 **新しい1.5Aのヒューズを取り付ける**
(弊社サービス店：品番 645 068 5316)

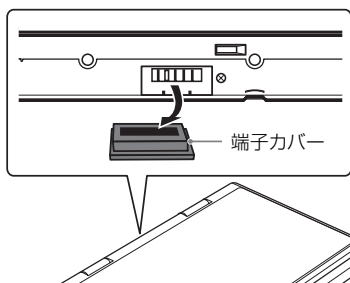
5 **プラグの端の部分を回して締める**

ご注意

- 交換するヒューズは同一タイプの同一定格値のものと交換してください。
- ヒューズを取りはずしたときに、ばねが飛び出すことがあります。

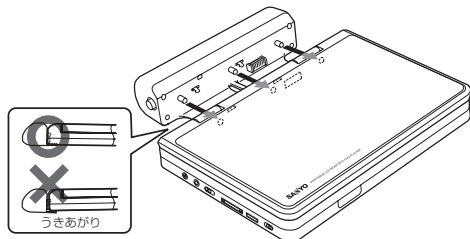
☞つづく

バッテリーパックを使う

■ バッテリーパックを取り付けるには

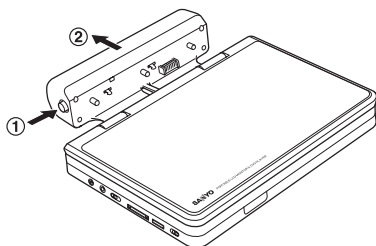
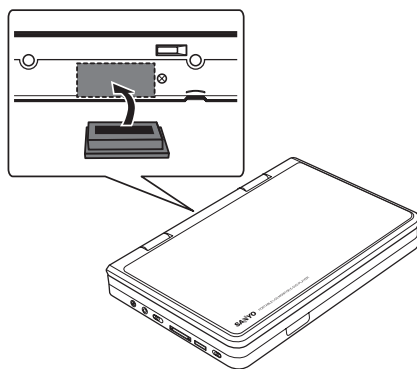
1 本体の電源スイッチを「切」にして、電源アダプターまたはカーバッテリーアダプターのプラグを抜く

2 本体の端子カバーを取りはずす

3 バッテリーパックを矢印の方向に、カチッと音がするまで差し込む

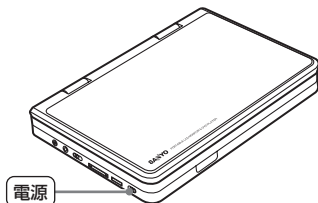
ご注意

- 持ち運ぶときは必ず本体をお持ちください。
- バッテリーパックで使用中に電池切れになったときは、必ず本体の**電源**スイッチを「切」にしてください。**電源**スイッチを「入」にしたまま放置しますと、バッテリーが過放電状態になり、バッテリーパックの寿命が短くなる場合があります。

■ バッテリーパックをはずすには

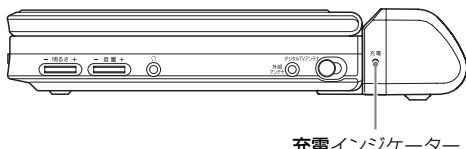
1 本体の電源スイッチを「切」にする

2 取りはずしボタン(①)を押しながら、②の方向に引き抜く(引くときには、少し力を入れてください。)

3 本体に端子カバーを取り付ける

ちょっとこれを!

- 本体から取りはずした端子カバーは、なくさないように保管してください。
- 使用後はバッテリーパックをはずしてください。

準備

バッテリーパックを充電する

本体の電源スイッチを「切」にして、電源アダプターまたはカーバッテリーアダプターを電源に接続する

充電インジケーターが点灯し、充電が始まります。

充電インジケーター

充電インジケーター	状態
点灯	充電中
消灯	フル充電完了

充電時間	約7時間	バッテリーパックが空の場合
連続再生時間	約3時間30分	DVD連続再生で明るさが最小、ヘッドホン使用時
	約3時間	DVD連続再生で明るさがセンター、ヘッドホン使用時
ワンセグ連続視聴時間	約4時間	ワンセグ連続視聴で明るさが最小、ヘッドホン使用時
	約3時間	ワンセグ連続視聴で明るさがセンター、ヘッドホン使用時

● 使用状態や温度などの条件によって、電池持続時間は異なります。

ご注意

● バッテリーパックは空になるまで使い切ってから充電されることをおすすめします。使い切らないまま継ぎ足し充電を繰り返すと、バッテリー持続時間が短くなる現象(メモリー効果)が起こります。

ちょっとこれを!

● **電源**スイッチが「入」の状態では充電されません。
● フル充電に近い状態にあるときは、**充電**インジケーターが点灯しない場合があります。
● バッテリーパックをフル充電して長期間(1ヶ月程度)放置すると、自己放電により使用可能時間が短くなります。お使いになる前にフル充電してから使われることをおすすめします。
● 充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーパックが熱を持つことがありますが、異常ではありません。
● 室内電源や車内電源を接続するとバッテリーパックからの電源が自動的に切れます。
● 正しく装着されないと充電されない場合があります。充電開始時は、必ず**充電**インジケーターが点灯していることを確認してください。

■ バッテリーパックの寿命について

バッテリーパックには寿命があります。正常に充電しても使用できる時間が著しく短くなった場合には、新しいバッテリーパックをご注文ください。

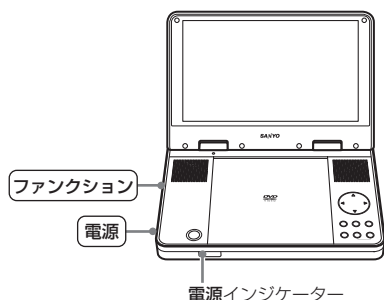
品名: ポータブルDVDプレーヤー用バッテリーパック
品番: DVF-BT3

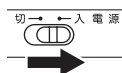
● 本機では付属のバッテリーパックおよび別売DVF-BT3のみ使用可能です。別売DVT-BT1およびDVF-BT2はご利用になれませんのでご注意ください。

■ バッテリーパックのリサイクルについて

Ni-MH バッテリーパックを廃棄するときは、充電池のリサイクルにご協力ください。

不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで、お近くの販売店、もしくは各地方自治体の指示(条例)にしたがってリサイクル処理してください。
その場合、バッテリーパックを分解せず、ショート防止のためバッテリーパックの端子にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってください。

つづく

電源を入/切する

本体の電源スイッチを「入」にすると電源が入る

- 本体前面の**電源**インジケーターが点灯します。
- リモコンでは電源は入れられません。本体でおこなってください。

本体の電源スイッチを「切」にすると電源が切れる

- 前面の**電源**インジケーターが消灯します。
- 液晶の特性により、ディスプレイにしばらく残像や横線があらわれる場合がありますが、故障ではありません。（数分間放置すると消えます。）

ファンクションを切り換える

DISC/SDファンクションに切り換えるには

ファンクションスイッチを「DISC/SD (出力)」に切り換える

- 電源が入った時、ディスプレイにSANYOのロゴが表示されます。そして、ディスプレイに「ロード中」と表示され、ディスクおよびSDカードの読み込みをはじめます。
  ディスクおよびSDカードが入っていないときは、「ディスクを入れて下さい」と表示されます。

入力ファンクションに切り換えるには

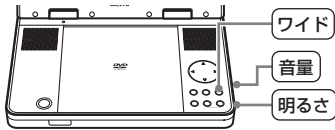
ファンクションスイッチを「入力」（中央）に切り換える

テレビ（ワンセグ放送）ファンクションに切り換えるには

ファンクションスイッチを「D-TV」に切り換える

- 電源が入った時、「テレビ起動中... しばらくお待ちください」と表示されます。

ちょっとこれを！

- DISCやSDの再生中にファンクションが切り換わると、自動的に停止します。

ディスプレイ表示サイズを切り換える

ディスプレイに表示される画面のサイズを切り換えることができます。

本体のワイドボタンを押す

押すたびに、画面の横幅サイズが切り換わります。

- **映像-音声**端子で出力した機器の画面サイズは、このボタンでは変わりません。

画面の明るさを変える

ディスプレイの明るさを変えることができます。

本体右側面の−明るさ＋ダイヤルで調節する

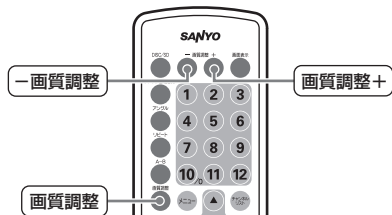
暗 ⟷ 明

- **映像-音声**端子で出力した機器の画面の明るさは、このダイヤルでは変わりません。

音量を調節する

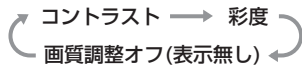
本体右側面の−音量＋ダイヤルで調節する

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。音量は時間と場所に応じて適度に調節してください。特に夜間の音楽鑑賞には気をくばりましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

画質を調整する

ディスプレイの画質を調整することができます。

1 **画質調整ボタンを押して、設定したい項目を選ぶ**

押すたびに、以下のように切り換わり、画質調整画面が表示されます。

■ **コントラスト**
ディスプレイのコントラストを調整します。

■ **彩度**
ディスプレイの彩度を調整します。

2 **−画質調整または画質調整＋ボタンを押して、画質を調整する**

押すたびに、ディスプレイに画質レベル（[00]～ [30]）を表示します。

- ボタンを押し続けると、連続で画質レベルが変化します。

3 **他の画質を調整する場合は、手順1～2を繰り返す**

- 調整を終える場合は、**画質調整**ボタンを押して画質調整画面を消します。

ちょっとこれを！

- 画質調整画面で何も操作せずに約5秒経過すると、自動的にもとの画面に切り換わります。
- 画質の調整はDISC/SDファンクションのときのみ有効です。

リモコンのボタン電池について

■ 初めてリモコンを使う場合

CR2025リチウム電池(付属)が、あらかじめリモコンの中に入っています。図のようにプラスチックシートを引き抜くと、使用できます。

- リモコンの電池が消耗すると、リモコンを本機の近くで操作しても動作しなくなりますので、新しい電池に交換してください。
- 付属の電池はモニター用です。寿命が短いことがありますが、ご了承ください。

■ 電池を取り替える場合

①を押さえながら、②の方向に引き出します。
(取り出すには、少し力を入れてください。)

電池はCR2025 リチウム電池を使用してください。

- 不要となった電池を廃棄する場合は各自治体の指示(条例)に従ってください。

ご注意

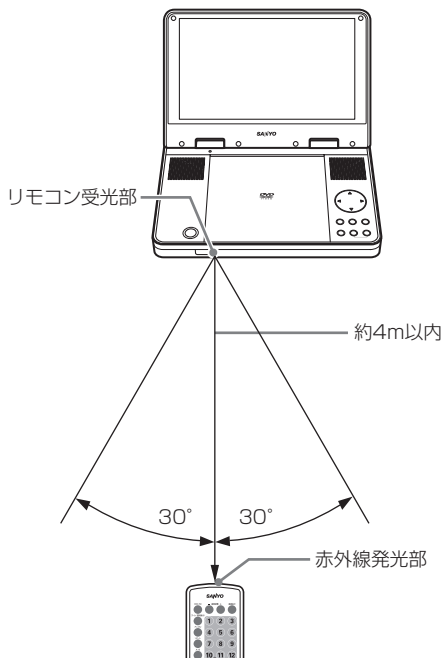
- リモコンを長期間(1ヶ月程度)使用しない場合は、電池を取りはずしてください。リモコン内の電池が液もれを起こす場合があります。

⚠ 警告

ボタン電池を乳幼児の手の届くところに置かないでください。

誤って飲み込むと、窒息したり、中毒の原因となります。万一、飲み込んだと思われる場合は、すぐに医師にご相談ください。

リモコンの使える範囲

水平方向で左右30度ずつ、直線距離で約4mまでの範囲です。

- 本機のリモコン受光部とリモコンとの間に障害物があると、操作できないことがあります。
- リモコンの電池が消耗すると、リモコンを操作しても動作しなくなりますので、新しい電池に交換してください。
- 直射日光下やインバーター蛍光灯の近くなどで強い光が当たると、正常に動作しないことがあります。

ワンセグ放送を見る前に

本機で受信できるテレビ放送

本機では、地上デジタル放送(ワンセグ)を視聴することができます。以下、ワンセグ放送と述べます。

ご注意

- ワンセグ放送の受信画像･音声は外部出力には出力されません。
- 本機は地上デジタル放送(ハイビジョン画質)および地上アナログ放送は受信できません。ワンセグ放送のみの受信となります。
  別売のチューナー P17 を使えば、地上アナログ放送も受信できます。
- データ放送、緊急警報放送は受信できません。また、地上デジタル放送の双方向サービスは利用できません。
- 使用される地域でワンセグ放送が開始されているかお確かめください。

ワンセグ放送の主な特徴

- 移動中の視聴は、地上アナログ放送よりも安定して電波を受信することができます。
- 視聴中の番組の番組情報を確認したり、番組表を見ることができます。
- 画面が小さい携帯機器用の放送のため、多少画質が粗くなったり、映像の動きがなめらかでない場合があります。
- 放送が開始されたばかりの時は、受信できる地域が限られます。

ちょっとこれを!

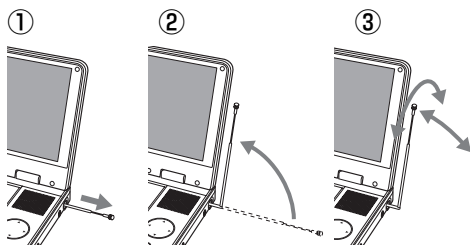
- 一般的に地上デジタル放送は、地上アナログ放送にくらべて数秒程度映像･音声が遅れます。このため、時報等も同様に遅れますのでご承知おきください。
- 「地上デジタル放送「ワンセグ」について」 P13 もご覧ください。

よりよい受信をするためには

ご注意

ワンセグ放送の受信可能な地域であっても、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所や、電波の弱い場所、トンネル・地下・建物の中など電波の届かない場所では、ワンセグ放送が受信できないことがあります。

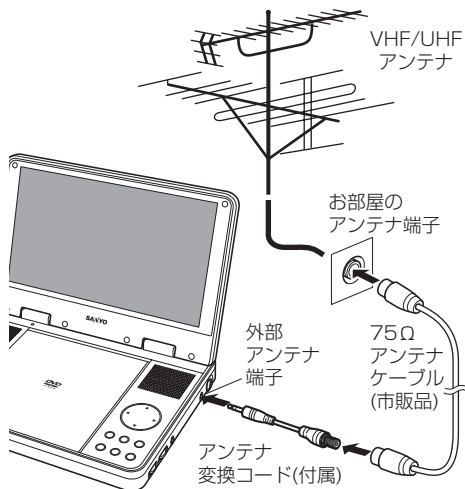
■ 内蔵のデジタルTVアンテナのとき

内蔵のアンテナを最後まで引き出し、アンテナを伸ばしてもっともよく受信できるように向きを調整します。

まっすぐにゆっくりと最後まで引き出す

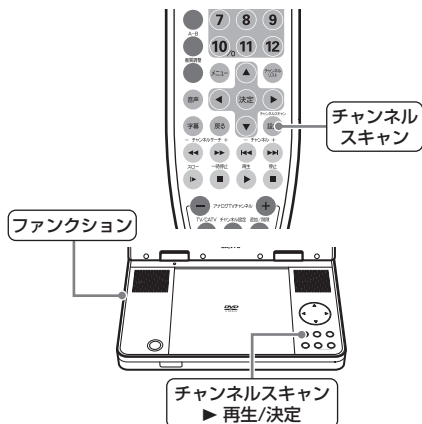
ちょっとこれを！

- **内蔵のアンテナの取り扱いにご注意ください。無理な力を加えて引き出したり、押し込んだりしないでください。破損や故障の原因となります。**
- ワンセグ放送を視聴しないときは、アンテナを本体に収納してください。
- テレビに色ズレが生じたり、本機に他のテレビの雑音が入る場合は、本機とテレビを離してご使用ください。
- 受信状態は本機の設置場所によって変わります。

■ お部屋のアンテナ端子に接続するとき

内蔵のアンテナを収納し、付属のアンテナ変換コードを本体に取り付け、アンテナケーブルを接続してください。

- 付属のアンテナ変換コードを取り付けるときは、無理な力を加えて押し込んだりしないでください。破損や故障の原因となります。
- ダイバーシティーアンテナは接続できません。

ワンセグ放送を見る

本書では基本的にリモコンでの操作を中心に説明しています。

放送局を自動登録する（チャンネルスキャン）

ワンセグ放送の受信可能な放送を自動的に受信してチャンネルリストに登録します。

準備

- 本体左側面の**ファンクション**スイッチを「D-TV」にしておきます。P21

■ はじめてワンセグ放送をご覧になるときやチャンネルリストに放送局が登録されていないとき

ご注意

- **出荷時は、放送局がチャンネルリストに登録がされていません。はじめてワンセグ放送をご覧になるときは、必ずこのページの手順に従って放送局を自動登録（チャンネルスキャン）してください。**

1 ディスプレイを開け、電源を入れる P21

ディスプレイに「テレビ起動中… しばらくお待ちください」と表示した後、「スキャンしてください」と表示します。

- SANYOのロゴが表示された場合は、**ファンクション**スイッチを「D-TV」に切り換えます。

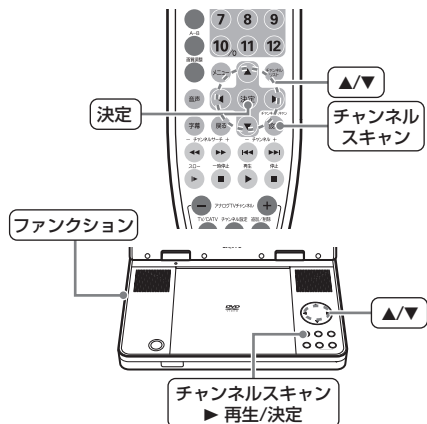
2 チャンネルスキャン（本体ではチャンネルスキャン ▶ 再生/決定）ボタンを押す

ディスプレイに「スキャン中… ○%」と表示され、チャンネルの下限から自動的に進み、受信できた放送局を自動的にチャンネルリストに登録します。P30

チャンネルの上限に達するとチャンネルスキャンは終了し、最初に登録された放送局に切り換わります。

- 電波が弱く受信状態が悪い場合は、放送局をチャンネルリストに登録できないことがあります。外部アンテナを接続してチャンネルスキャンすることをおすすめします。
- 周囲に妨害電波がある場合は、妨害電波を受信することがありますが、故障ではありません。
- 選局後、映像と音声の出力までに数秒かかります。

ちょっとこれを！

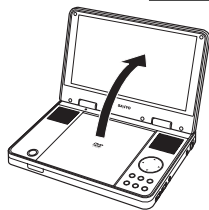
- ワンセグ放送の電波が受信できない状態では、チャンネルスキャンを実行しても放送局がチャンネルリストに登録されず、再度、「スキャンしてください」と表示されます。
- 受信状態が悪い場合、またはワンセグ放送サービスをおこなっていない放送局を受信した場合は、画面が黒くなったり、「受信できません。」、「電波強度弱」などと表示されます。
- チャンネルリストの内容は電源を切っても記憶されています。

■ 再度自動登録をおこなうとき

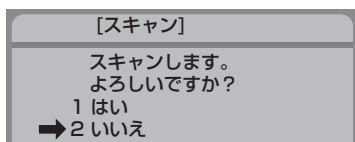
ご注意

- 本機を利用する地域が変更になった場合などは、再度チャンネルスキャンを実行してください。
- 再度チャンネルスキャンを実行すると、前の登録内容は消えて、新たに登録されます。

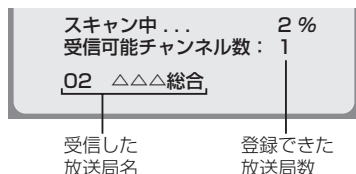
1 ディスプレイを開け、電源を入れる P21

ディスプレイに「テレビ起動中… しばらくお待ちください」と表示します。

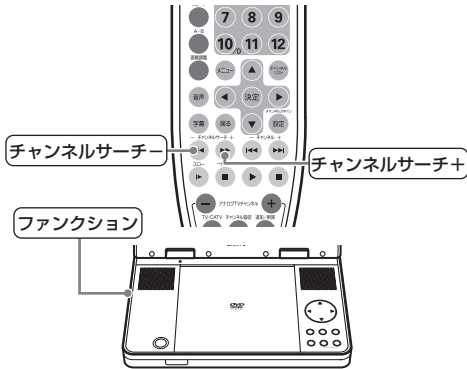
- SANYOのロゴが表示された場合は、**ファンクション**スイッチを「D-TV」に切り換えます。

2 チャンネルスキャン（本体ではチャンネルスキャン ▶ 再生/決定）ボタンを押す

ディスプレイに「スキャン」確認画面が表示されます。

3 ▲/▼（方向）ボタンを押して「はい」を選び、決定（本体ではチャンネルスキャン ▶ 再生/決定）ボタンを押す

ディスプレイに「スキャン中… ○%」と表示され、チャンネルの下限から自動的に進み、受信できた放送局を自動的にチャンネルリストに登録します。

受信した放送局名　　登録できた放送局数

チャンネルの上限に達するとチャンネルスキャンは終了し、最初に登録された放送局に切り換わります。このとき受信した放送局がチャンネルリストに登録されます。 P30

- スキャンしない場合は、「いいえ」が選択されているのを確認して、**決定**（本体では**チャンネルスキャン ▶ 再生/決定**）ボタンを押します。
- 電波が弱く受信状態が悪い場合は、放送局をチャンネルリストに登録できないことがあります。外部アンテナを接続してチャンネルスキャンすることをおすすめします。
- 周囲に妨害電波がある場合は、妨害電波を受信することがありますが、故障ではありません。
- 選局後、映像と音声の出力までに数秒かかります。

ワンセグ放送を見る

チャンネルサーチで選局する

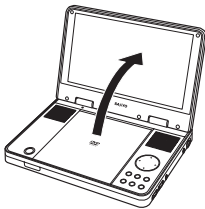
受信可能なワンセグ放送局を選局できます。

- チャンネルサーチで受信した放送局をチャンネルリストで確認することができます。 P30

準備

- 本体左側面の**ファンクション**スイッチを「D-TV」にしておきます。 P21

1 ディスプレイを開け、電源を入れる P21

ディスプレイに「テレビ起動中… しばらくお待ちください」と表示します。

- SANYOのロゴが表示された場合は、**ファンクション**スイッチを「D-TV」に切り換えます。
- 初めてワンセグをご利用になる場合は、「スキャンしてください」と表示されます。その際は、 P26 の手順に従ってチャンネルスキャンをおこなってください。

2 チャンネルサーチ＋または－ボタンを押して、現在受信中の次の放送局を受信する

チャンネルが自動的に進み（「シーク中 - - -」を表示）、放送局を受信すると自動停止し、受信画面に切り換わります。

シーク中 - - -
チャンネル：[13]CH

チャンネル：[14]CH
02　△△△総合

- 電波が弱く受信状態が悪い場合は、自動停止しないことがあります。
- チャンネルサーチを中止するには、**チャンネルサーチ＋**または**－**ボタンを押してください。
- 周囲に妨害電波がある場合は、妨害電波を受信して自動停止することがありますが、故障ではありません。
- 選局後、映像と音声の出力までに数秒かかります。

つづく

登録された放送局を選局する

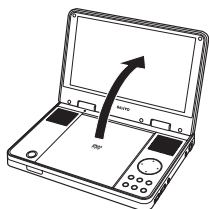
チャンネルスキャン P26 で登録した放送局を呼び出すことができます。

準備

- 本体左側面の**ファンクション**スイッチを「D-TV」にしておきます。P21

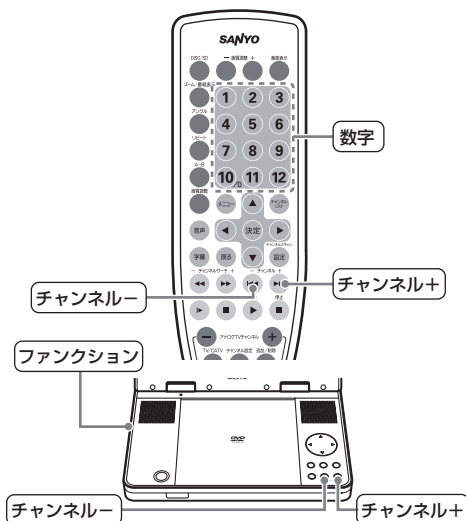
■ ダイレクト選局

1 ディスプレイを開け、電源を入れる P21

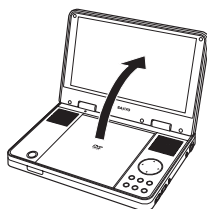
ディスプレイに「テレビ起動中... しばらくお待ちください」と表示します。

- SANYOのロゴが表示された場合は、**ファンクション**スイッチを「D-TV」に切り換えます。

2 数字ボタンを押して、希望の放送局を選局する

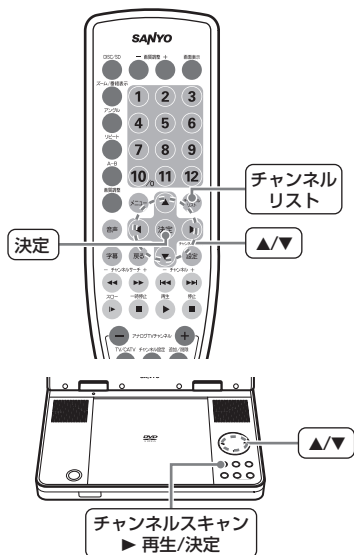
例：2を押す･･･ ②に登録された放送局を選局します。
12を押す･･･ ⑫に登録された放送局を選局します。

- 押した**数字**ボタンに放送局が登録されていない場合は、「登録されていません。」と表示します。
- 押した数字ボタンに複数の放送局が登録されてる場合は、チャンネルリストで上位に登録された放送局を選局します。P30

■ プリセット選局

1 ディスプレイを開け、電源を入れる P21

ディスプレイに「テレビ起動中... しばらくお待ちください」と表示します。

- SANYOのロゴが表示された場合は、**ファンクション**スイッチを「D-TV」に切り換えます。

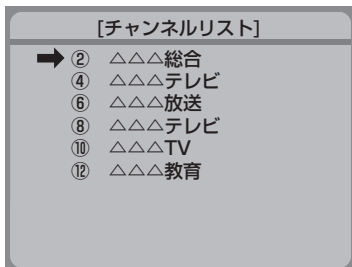
2 チャンネル＋または－ボタンを押して、希望の放送局を選局する

ボタンを押すたびに次または前に登録された放送局を選局します。

チャンネルリストで選局する

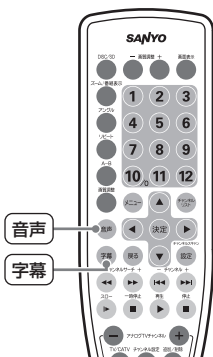
登録した放送局のチャンネルリストを表示させ、放送局を選局できます。

1 チャンネルリストボタンを押す

ディスプレイに「チャンネルリスト」を表示します。

（例：）

- チャンネルリスト表示中に再び**チャンネルリスト**ボタンを押すと、もとの表示に戻ります。
- 受信地域によっては、同じ登録番号に複数登録される場合があります。

2 ▲/▼（方向）ボタンを押して、選局したい放送局を選び、決定（本体ではチャンネルスキャン ▶ 再生/決定）ボタンを押す

選択した放送局を選局します。

字幕表示

ワンセグ放送には字幕のついた番組があります。字幕のついた番組を受信したときは、字幕を画面に表示するように設定できます。

番組を受信中に、字幕ボタンを押す

押すたびに、以下のように切り換わります。

→ 字幕表示あり → 字幕表示なし ─┘

- 字幕のない番組では、字幕を表示できません。

ちょっとこれを！

- メインメニューから設定することもできます。 P34

番組の音声を切り換える

受信中の番組の音声出力を切り換えることができます。切り換えできる音声は放送されている番組により異なります。

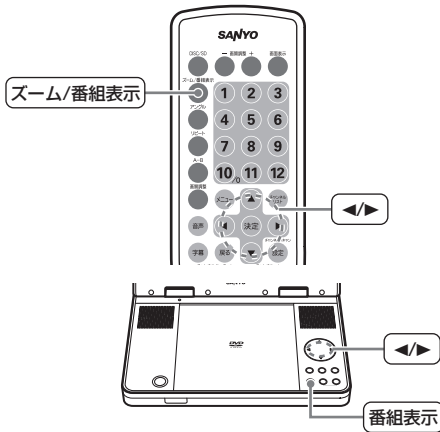
番組を受信中に、音声ボタンを押して出力したい音声を選ぶ

押すたびに、以下のように切り換わります。

→ 主音声 → 副音声 → 主＋副音声 ─┘

- 番組によっては音声の切り換えができません。
- 音声が「ステレオ」または「モノラル」の場合は、設定を変更しても音声に変化はありません。

ちょっとこれを！

- メインメニューから設定することもできます。 P34

番組情報や番組表を表示させる

ディスプレイに、放送局名や番組タイトル、番組情報、番組表（EPG※）を表示できます。

番組を受信中に、ズーム/番組表示（本体では番組表示）ボタンを押す

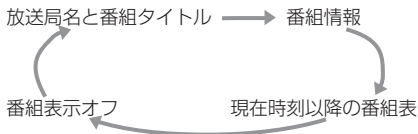
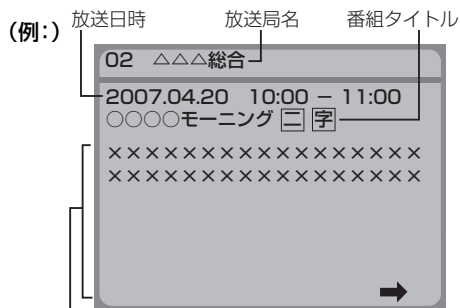
押すたびに、次のように切り換わります。

放送局名と番組タイトル

（例：）

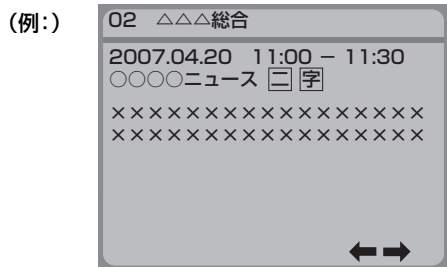
つづく

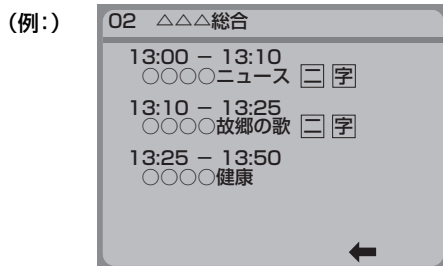
番組情報

(例:)

● 番組情報表示中に ▶(方向)ボタンを押して、放送中の番組以降の番組情報を表示させることができます。
◀(方向)ボタンを押すと、前の表示に戻ります。

(例:)

現在時刻以降の番組表

(例:)

● 番組表が次のページにまたがる場合は➡が表示され、▶(方向)ボタンを押して、次のページ内容を表示させることができます。
◀(方向)ボタンを押すと、前の表示に戻ります。

(例:)

※EPG:電子番組表または電子プログラム・ガイドともいいます。番組タイトル、番組の詳細、開始・終了時刻の情報を画面で見ることができます。
EPGの内容は、放送局や番組によって異なります。

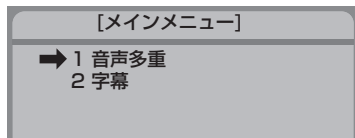
ちょっとこれを!

● 番組に関するデータが取得されていない場合は番組表や番組内容を表示できません。
● 放送局や表示させる時間によって、表示される番組表や番組情報は異なります。
● 各情報表示画面で何も操作せずに約10秒経過すると、自動的に視聴画面に切り換わります。

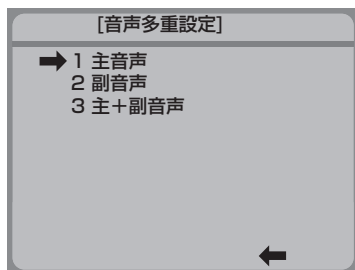
メインメニューについて

メインメニューで、音声や字幕の設定をおこなうことができます。

■ 音声多重を設定する

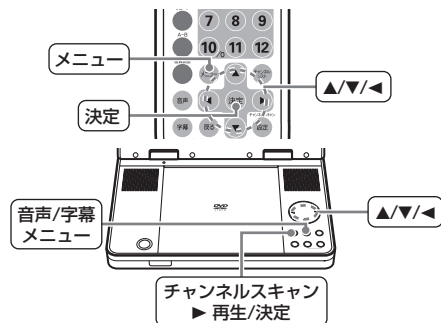
1 **番組を受信中に、メニュー(本体では音声/字幕 メニュー)ボタンを押す**

メインメニュー画面が表示されます。

2 **▲/▼(方向)ボタンを押して、「音声多重」を選択し、決定(本体ではチャンネルスキャン ▶ 再生/決定)ボタンを押す**

音声多重設定画面が表示されます。

- 音声多重設定画面表示中に ◀(方向)ボタンを押すと、メインメニュー画面に戻ります。

3 **▲/▼(方向)ボタンを押して、音声設定(主音声/副音声/主+副音声)を選択し、決定(本体ではチャンネルスキャン ▶ 再生/決定)ボタンを押す**

メインメニュー画面に戻ります。

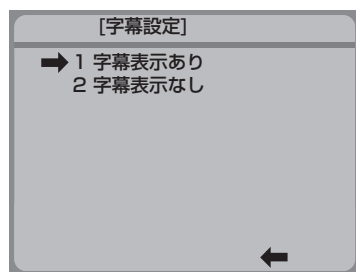
4 **メニュー(本体では音声/字幕 メニュー)ボタンを押す**

受信画面に戻ります。

■ 字幕を設定する

1 **番組を受信中に、メニュー(本体では音声/字幕 メニュー)ボタンを押す**

メインメニュー画面が表示されます。左記参照

2 **▲/▼(方向)ボタンを押して、「字幕」を選択し、決定(本体ではチャンネルスキャン ▶ 再生/決定)ボタンを押す**

字幕設定画面が表示されます。

- 字幕設定画面表示中に ◀(方向)ボタンを押すと、メインメニュー画面に戻ります。

3 **▲/▼(方向)ボタンを押して、字幕設定(字幕表示あり/字幕表示なし)を選択し、決定(本体ではチャンネルスキャン ▶ 再生/決定)ボタンを押す**

メインメニュー画面に戻ります。

4 **メニュー(本体では音声/字幕 メニュー)ボタンを押す**

受信画面に戻ります。

ディスクを再生する

DVD CD DATA

つづく

本書では基本的にリモコンでの操作を中心に説明しています。

本取扱説明書では本機の基本的な操作のしかたを説明しています。
<各種設定はディスク情報が優先されます>

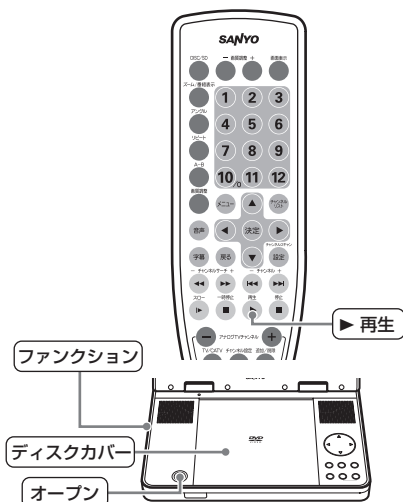
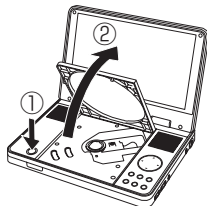
はじめてご使用になるときは、ディスクカバー内にある保護シートを取り出してください。

準備

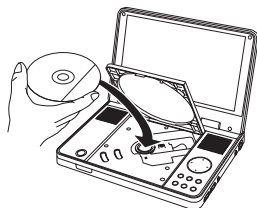
- 本体左側面の**ファンクション**スイッチを「DISC/SD（出力）」にしておきます。 P21

1 ディスプレイを開け、電源を入れる P21

ディスプレイにSANYOのロゴ を表示します。

- 「テレビ起動中...　しばらくお待ちください」と表示の場合は、**ファンクション**スイッチを「DISC/SD（出力）」に切り換えます。

2 オープンボタンを押して、ディスクカバーを開ける

ディスプレイに「開く」が表示されます。

3 ディスクをディスクテーブルに置く

再生面を下にして、カチッと音がするまでしっかりと中央のホルダーにはめ込んで固定します。

4 ディスクカバーを閉める

ディスクカバーの「クローズ」部を押して、カチッと音がするまで確実に閉めてください。
ディスプレイに「ロード中」と表示され、自動的に再生が始まります（オートプレイ機能 ）。

- ディスクによっては、▶ **再生**ボタンを押してください。

DVD: 「DVD-Video」を表示します。
CD: 「CD」とトラック番号、再生経過時間を表示します。

- ディスクの再生面を逆にしてディスクテーブルに置いたり、傷ついたディスクを再生しようとすると、ディスプレイに「ディスクを入れて下さい」と表示されます。この場合は、ディスクを正しく置きなおすか、新しいディスクに交換してください。

- データCD（MP3 P48、JPEG P51 ）の再生のしかたについては、各説明ページも併せてご覧ください。

ディスクを再生する

DVD CD DATA

SDカードがセットされている場合は

DISCモードにするには、ディスクをセットしたあと、**DISC/SD**ボタンを押してください。

停止しているディスクを再生するとき

▶ 再生ボタンを押す

再生が始まります。

ディスクのメニューが表示されたとき

DVDによってはメニューが表示される場合があります。そのときは、▲/▼/◀/▶（方向）ボタンと**決定**ボタン（本体では▶ **再生/決定**ボタン）で項目を選びます。くわしくは、P39 をご覧ください。

DVD VRフォーマットのディスクを入れたとき

DVD VRメニュー画面を表示させて、プレイリストタイトルを再生したり、オリジナル、またはプレイリストタイトルを選んで再生したりすることができます。くわしくは、右記 をご覧ください。

ちょっとこれを！

- DTS音声は再生できません。DVDディスクのメニューでDTS音声の選択をしないでください。

VRモードを再生する DVD

DVDレコーダーなどでDVD-RW（DVD VRフォーマット）に登録したプレイリストタイトルを再生します。

準備 本機の電源を入れたあと、プレイリストが登録されているディスク（DVD VRフォーマット）を入れて、再生できるようにしておきます。P35

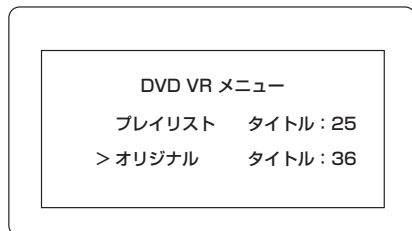
1 ■ 停止ボタンを2度押して、ディスクを完全に停止させる

■

2 メニューボタンを押す

DVD VR メニュー画面が表示されます。

DVD VR メニュー

プレイリスト	タイトル：25
> オリジナル	タイトル：36

プレイリスト: 録画された映像をお好みの順番に編集されたもの

オリジナル: 録画されたままの映像で、編集されていないもの.

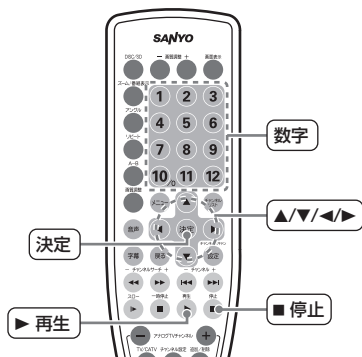
3 ▲/▼（方向）ボタンを押して、「プレイリスト」を選び、決定ボタンを押す

4 ▶ 再生ボタンを押す

プレイリストタイトルの再生が始まります。

ちょっとこれを！

- プレイリストが記録されていないディスクは「プレイリスト　タイトル：00」と表示されます。
- ディスクの記録状態によっては、プレイリストタイトルが再生できない場合があります。

つづく

タイトルサーチ(VRモード) DVD

DVD VRフォーマットで記録されたオリジナルタイトルやプレイリストタイトルの再生したいタイトル番号を入力すると、そこから再生することができます。

1 P36 **操作3で▲/▼(方向)ボタンを押して、「プレイリスト」または「オリジナル」を選ぶ**

2 決定ボタンを押す

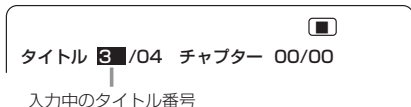
タイトル番号の入力画面が表示されます。

3 数字ボタンで、希望のタイトル番号を入力し、決定ボタンを押す

例: タイトル番号3を選ぶには
0 → 3

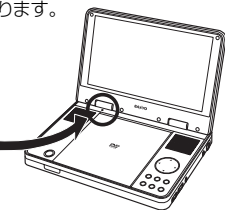
例: タイトル番号12を選ぶには
1 → 2

タイトル 3 /04 チャプター 00/00

入力中のタイトル番号

選んだタイトルから再生が始まります。

- カーソルがチャプター番号の位置に移動します。表示が消える前に**数字**ボタンでチャプター番号を入力すると、再生中のタイトルの選んだチャプターから再生が始まります。

ご注意

- 再生中に本機を動かしたり、ディスクカバーを開けたりしないでください。ディスクを傷つけてしまうことがあります。また、動作中のディスクカバーに力を加えないでください。故障の原因となります。
- ディスクカバーを上から強く押したり、ディスクテーブルにディスク以外のものを乗せないでください。故障の原因となります。
- ディスクカバーの上に物を置かないでください。ディスクカバーが開くときに、物が倒れて破損やけがの原因となります。また、ディスクカバーの故障の原因となります。
- DVDやDVD-VRディスクはリーディング(読み込み)に時間がかかる場合があります。
- ディスクによってはオートプレイをしないディスクがあります。
- 画面表示中、下図のスイッチを押すと、画面が消えます。

再生を途中で止める

■ 停止ボタンを押す

停止した位置から再生するとき(レジューム機能)

再生中に ■ **停止**ボタンを1回押すと、「再生を押して継続」とディスプレイに表示されます。
▶ **再生**または**決定**ボタンを押すと、停止したところから再生が始まります。

完全に停止させるとき(レジューム機能の解除)

上記の状態からもう一度 ■ **停止**ボタンを押します。
次に再生するときはディスクの最初から始まります。

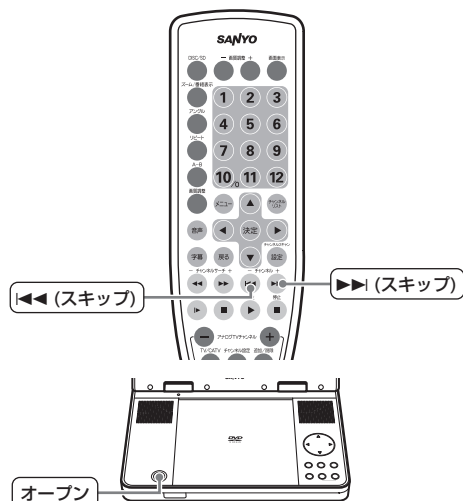
ご注意

■ **停止**ボタンを押してからディスクの回転が止まるまで数秒かかります。すぐにディスクカバーを開けないでください。故障やけがの原因となります。

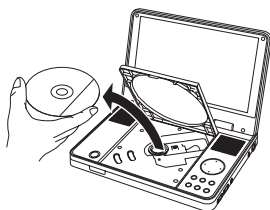
ちょっとこれを!

- 「再生を押して継続」と表示されないときは、レジューム再生できません。
- ディスクによってはレジューム再生できない場合があります。
- レジューム再生は、停止した位置によっては、停止位置からずれて始まる場合があります。

ディスクを再生する

DVD CD

ディスクを取り出す

オープンボタンを押して、ディスクカバーを開ける

ディスクカバーが完全に開き、ディスクの回転が完全に停止してからディスクを取り出します。

ディスクカバーの「クローズ」部を押して、カチッと音がするまで確実に閉めてください。
ディスクカバーを閉めてからディスプレイを閉じてください。

操作中に「 ⊘ 」がディスプレイに表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

再生したい項目にスキップする

次のチャプター/トラックへ進む

再生中に、▶▶| (スキップ)ボタンを押す

ディスプレイに「 ▶▶| 」が表示され、次のチャプターまたはトラックの頭から再生します。

前のチャプター/トラックへ戻る

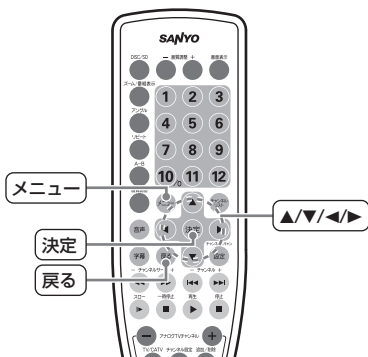
再生中に、|◀◀ (スキップ)ボタンを押す

ディスプレイに「 |◀◀ 」が表示され、再生中のチャプターまたはトラックの頭から再生します。続けてもう一度押すと、1つ前のチャプターまたはトラックの頭から再生します。

ちょっとこれを！

- ディスクによってはスキップが禁止されている場合があります。
- チャプターとトラックについては P11 を参照してください。

メニューを使う

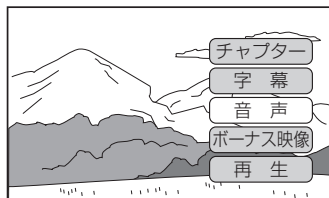
<各種設定はディスク情報が優先されます>

DVDには、ディスク内にメニューが記録されているものがあります。このようなディスクを再生するときは希望の項目をメニューで選ぶことができます。

準備　本機の電源を入れたあと、ディスクを入れて、再生できるようにしておきます。P35

DVDメニューで選ぶ

1 再生中に、メニューボタンを押す

ディスプレイに「ルートメニュー」と表示され、DVDメニューが表示されます。記録されている映像を選んだり、字幕や音声の言語を選べます。

（表示例）

2 ▲/▼/◀/▶（方向）ボタンを押して希望の項目を選ぶ

ディスクによっては、**数字**ボタンで選べるものもあります。

3 決定ボタンを押す

選んだ項目が実行されたり、次のメニューに移ったりします。操作**2〜3**をくり返して希望のメニューを操作します。

- ディスクによってはDVDメニューが複数階層用意されているものがあります。そのようなディスクの場合は、さらに**メニュー**ボタンを押すと「タイトルメニュー」が表示され、上の階層のDVDメニューを表示することができます。

戻るボタンを使う

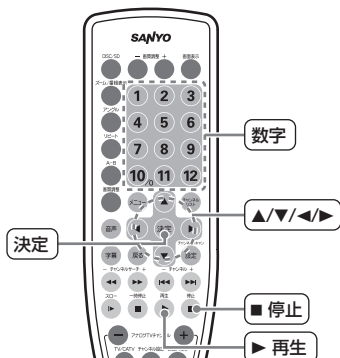
DVDメニュー表示中に**戻る**ボタンを押すと、本編の再生にもどります。

- ディスクによっては、ディスプレイに「戻る」と表示する場合もあります。

ちょっとこれを！

- 複数の言語でDVDメニューが記録されている場合は、システム設定の「その他設定ページ」で言語を選ぶことができます。P60
- DVDメニューが記録されていないディスクもあります。
- DVDメニューを操作してから実際に動作するまで、数秒かかる場合があります。
- ディスクによっては「DVDメニュー」のことを別の呼びかたで表示しているものもあります。また、「**決定**ボタンを押す」といった案内の表示を「**選択**ボタンを押す」などと表示しているものがあります。
- ディスクによっては「DVDメニュー」を選ぶことが禁止されている場合があります。
- ディスクによっては「ルートメニュー」と「タイトルメニュー」が同じ内容で表示されることがあります。表示される内容はディスク情報に依存します。
- ディスクによっては読み込み後、DVDメニューを表示する場合と本編を再生する場合があります。

見たい、聞きたいところを探す

DVD CD

準備　本機の電源を入れたあと、ディスクを入れて、再生できるようにしておきます。P35

タイトルサーチ

DVD

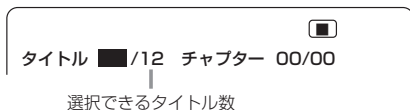
再生したいタイトル番号を入力すると、そこから再生することができます。

1 **■ 停止ボタンを2度押して、ディスクを完全に停止させる**

2 **停止中に数字ボタンを押す**

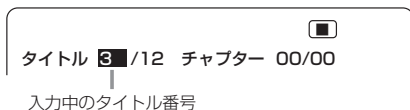
タイトル番号の入力画面が表示されます。

タイトル ▬ /12　チャプター　00/00

選択できるタイトル数

3 **数字ボタンで、希望のタイトル番号を入力する**

例：タイトル番号3を選ぶには
　3

例：タイトル番号10を選ぶには
　1 → 0

入力中のタイトル番号

4 **決定または ▶ 再生ボタンを押す**

選んだタイトルから再生が始まります。

チャプターサーチ DVD

再生したいチャプター番号を入力すると、そこから再生することができます。

再生中に数字ボタンで、希望のチャプター番号を入力し、決定または ▶ 再生ボタンを押す

例：チャプター番号6を選ぶには
6 → **決定** または ▶ **再生**
例：チャプター番号12を選ぶには
1 → 2

タイトル 06/12 チャプター 1 /23

入力中のチャプター番号
選択できるチャプター数

選んだチャプターから再生が始まります。

■ レジューム停止中にチャプターサーチするには

レジューム停止中（「再生を押して継続」と表示）にチャプターサーチするには、以下のように操作します。

ご注意

- レジューム停止中のチャプターサーチは、レジューム停止中のタイトル内のチャプター番号のみ選択できます。

1 レジューム停止中に数字ボタンを押す
タイトル番号の入力画面が表示されます。

2 ◀/▶（方向）ボタンを押し、カーソルをチャプター番号の位置に移動する

タイトル 06/12 チャプター /23

選択できるチャプター数

3 数字ボタンで、希望のチャプター番号を入力する
例：チャプター番号6を選ぶには
6 → **決定** または ▶ **再生**
例：チャプター番号12を選ぶには
1 → 2

選んだチャプターから再生が始まります。

トラックサーチ CD

再生したいトラック番号を入力すると、そこから再生することができます。

数字ボタンで、希望のトラック番号を入力し、決定または ▶ 再生ボタンを押す

例：トラック番号6を選ぶには
6 → **決定** または ▶ **再生**
例：トラック番号10を選ぶには
1 → 0

トラック選択：- 6 /12

入力中のトラック番号

選んだトラックから再生が始まります。

ちょっとこれを！

- 設定途中で訂正するときは、▲/▼/◀/▶（方向）ボタンを押して設定をキャンセルしてから、もう一度はじめから操作しなおします。
- 誤った番号が入力されていると、ディスプレイに「⊘」が表示されます。正しい番号を再入力してください。
- ディスクによってはサーチを禁止しているものもあります。
- タイトルとチャプター、トラックについては P11 を参照してください。

操作中に「⊘」がディスプレイに表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

再生

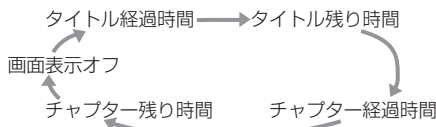
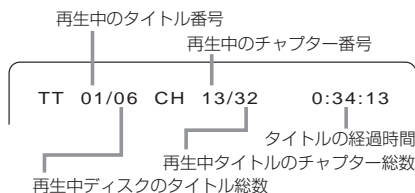
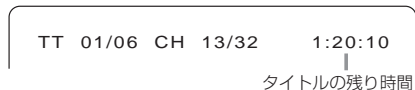
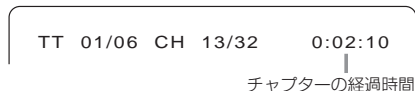
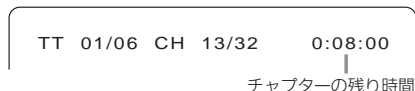
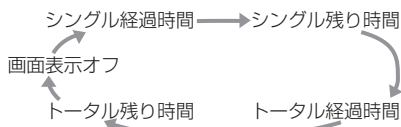
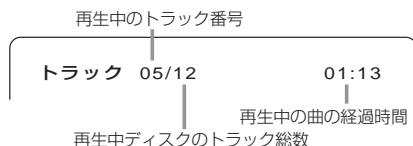
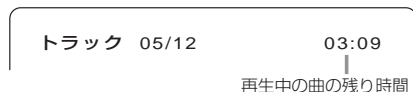
ディスクの情報を見る

DVD CD

ディスプレイに、経過時間や残り時間などのディスク情報を表示できます。

再生中に、画面表示ボタンを押す

押すたびに、次のように切り換わります。

■ [DVDのとき]

タイトル経過時間

タイトル残り時間

チャプター経過時間

チャプター残り時間

■ [CDのとき]

シングル経過時間

シングル残り時間

トータル経過時間

トータル残り時間

ちょっとこれを!

- 早送り、早戻し再生中やスロー再生中、静止(一時停止)中にディスク情報の表示を切り換えることもできます。

速さを変えて再生する

DVD CD DATA

<各種設定はディスク情報が優先されます>

静止(一時停止)する

再生中に、II 一時停止ボタンを押す

ディスプレイに「 II 」が表示されます。

DVD:静止
CD:一時停止
DATA:一時停止

ステップ再生をするとき

DVDでは、リモコンの II **一時停止**ボタンを押すことで、押すたびに1コマ進むステップ再生ができます。(本体側では操作できません)

通常の再生に戻すとき

▶ **再生**または**決定**ボタンを押します。

早送り、早戻しする(サーチ)

再生中に、▶▶ (早送り)または ◀◀ (早戻し)ボタンを押す

押すたびに、速さが切り換わります。
ディスプレイには以下のように表示されます。

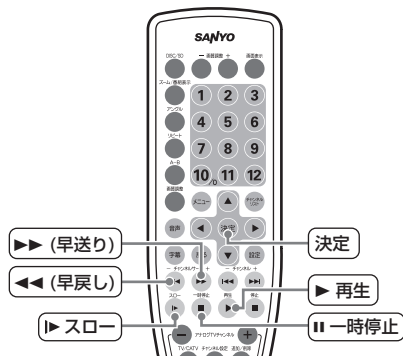
早送り: ▶▶ (早送り)ボタン

早戻し: ◀◀ (早戻し)ボタン

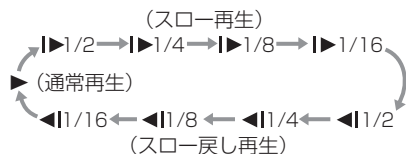
通常の再生に戻すとき

▶ **再生**または**決定**ボタンを押します。

スロー再生で見る

DVD

再生中に、I▶スローボタンを押す

押すたびに、速さが切り換わります。
ディスプレイに以下のように表示されます。

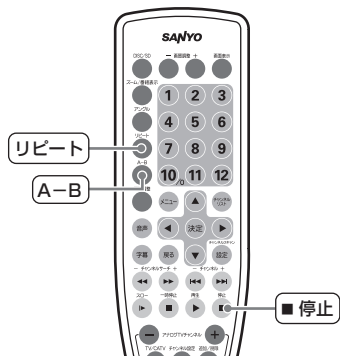
通常の再生に戻すとき

▶ **再生**または**決定**ボタンを押します。

ちょっとこれを!

- 静止(一時停止)やスロー再生・スロー戻し再生中は、音声が出ません。
- DVDでは、早送り、早戻し中は音声が出ません。
- ディスクによっては、早送り、早戻しを自動で解除して再生に切り換わるものがあります。
- ディスクによっては、静止(一時停止)や早送り・早戻し・スロー再生・スロー戻し再生を禁止しているものもあります。

操作中に「 ⊘ 」がディスプレイに表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

くり返し再生する

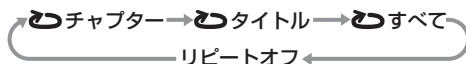
DVD CD

くり返し再生する

ディスク全体 またはタイトル・チャプター/トラックをくり返し再生できます。(リピート再生)

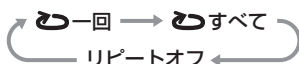
リピートボタンを押して、リピートモードを選ぶ

押すたびに、以下のように切り換わります。

例: DVD

チャプター → タイトル → すべて → リピートオフ →

ディスプレイ画面	動作
チャプター	再生中のチャプターを繰り返す
タイトル	再生中のタイトルを繰り返す
すべて	ディスクの内容すべてを繰り返す
リピートオフ	リピート再生取り消し

例: CD

一回 → すべて → リピートオフ →

ディスプレイ画面	動作
一回	再生中のトラックを繰り返す
すべて	ディスク全体を繰り返す
リピートオフ	リピート再生取り消し

通常の再生に戻すには

「リピートオフ」が表示されるまで、**リピート**ボタンをくり返し押します。

再生したい部分だけをくり返し再生する

1 **再生中にくり返し再生したい部分の始点(A)で、A-Bボタンを押す**

A

2 **くり返し再生したい部分の終点(B)で、A-Bボタンを押す**

AB

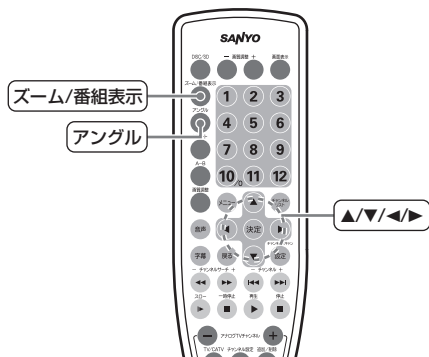
自動的にA点に戻り、指定した部分(A-B間)のくり返し再生が始まります。(A-Bリピート)

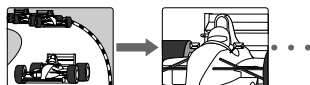
通常の再生に戻すには

A-Bボタンを押します。画面に「リピートオフ」と表示され、A-Bリピートが解除されます。

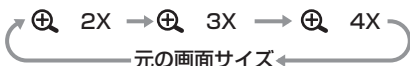
ちょっとこれを!

- 電源を切/入したり、ディスクカバーの開閉や、**■ 停止**ボタンを押して停止すると、リピート再生やA-Bリピート再生は解除されます。
- ディスクによってはリピート再生やA-Bリピート再生ができない場合があります。また、チャプターリピートまたはタイトルリピートを選ぶことができない場合があります。
- A-Bリピートは1ヶ所のみ設定できます。

いろいろな映像の見かた

映像を拡大する(ズーム)

映像を拡大表示することができます。

1 **再生または静止中にズーム/番組表示ボタンを押す**

押すたびに、次のように拡大率が変わります。

2X → 3X → 4X → 元の画面サイズ

2 **▲/▼/◀/▶(方向)ボタンを押して、拡大部分を移動させる**

- 画面の端までくると移動が止まります。

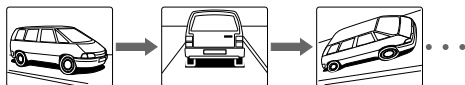
元の画面サイズに戻すには

ズーム表示が消えるまで、**ズーム/番組表示**ボタンをくり返し押します。

ちょっとこれを!

- スロー再生・スロー戻し再生や早送り・早戻しのときも、ズーム機能が使用できます。
- ディスクに記録されている画面によってはズーム機能が働かないものもあります。

映像のアングルを切り換える

複数のアングルで記録された(マルチアングル)DVDでは、好きなアングルに切り換えることができます。

再生中に、アングルボタンを押す

押すたびに、選択しているアングルの番号が切り換わり、アングルが切り換わります。

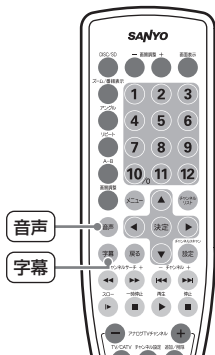
ちょっとこれを!

- マルチアングルで記録された映像を再生しているときだけ、アングルを切り換えることができます。
- ディスクによってはアングルの切り換えを禁止しているものもあります。

操作中に「⊘」がディスプレイに表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

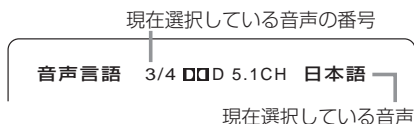
言語を変更する

DVD

<各種設定はディスク情報が優先されます>

DVDの音声を切り換える

DVDに複数の音声が記録されているときは、希望の音声を選んで再生することができます。

再生中に音声ボタンを押す

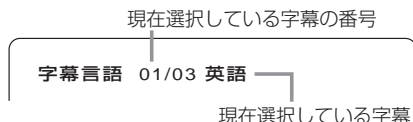
押すたびに、音声が切り換わります。

ちょっとこれを！

- ディスクによっては複数の音声が記録されていても、切り換えを禁止しているものもあります。
- ディスクによっては、DVDメニューから音声を設定できるものもあります。 P39
- 電源を切/入したり、ディスクを交換したりすると設定した音声が解除され、元の状態に戻ります。その場合は上の手順をくり返して音声を選びなおしてください。
- 記録されている音声の種類や数はディスクによって異なります。また、選択できる音声はディスク情報によって決まります。
- DTS音声は再生できません。

DVDの字幕を切り換える

DVDに複数の字幕が記録されているときは、希望の字幕を選ぶことができます。また、字幕表示をオン/オフすることもできます。

再生中に字幕ボタンを押す

押すたびに、ディスクで選べる字幕が切り換わります。

字幕表示を切るには

「字幕　オフ」が表示されるまで、**字幕**ボタンをくり返し押します。

ちょっとこれを！

- ディスクによっては、字幕が記録されていても、字幕表示のオン/オフや切り換えを禁止している場合があります。
- ディスクによっては、DVDメニューから字幕を設定できるものもあります。 P39
- 記録されている字幕言語の種類や数はディスクによって異なります。また、選択できる字幕はディスク情報によって決まります。
- 電源を切/入したり、ディスクを交換したりすると設定した字幕が解除され、元の状態に戻ります。その場合は上の手順をくり返して字幕を選びなおしてください。

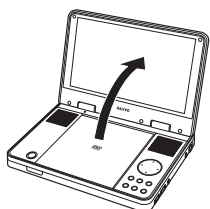
SDカードを再生する前に

本機では、MP3形式の音楽データ、または JPEGの静止画像が記録されたSDカードを再生できます。

準備

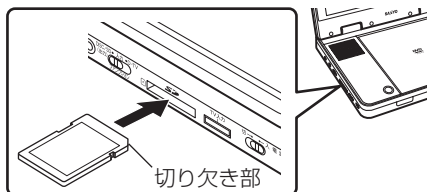
- 本体左側面の**ファンクション**スイッチを「DISC/SD（出力）」にしておきます。P21

1 ディスプレイを開け、電源を入れる P21

ディスプレイにSANYOのロゴが表示されます。

- **ファンクション**スイッチが「D-TV」の場合は、「テレビ起動中… しばらくお待ちください」と表示されます。**ファンクション**スイッチを「DISC/SD（出力）」に切り換えます。

2 SDカードを挿入する

ラベル面を上にして、カチッと音がするまでしっかりとSDカードスロットに差し込みます。

- miniSDカード、microSDカードを使用するときは、変換アダプタ（市販品）を装着し、変換アダプタごと挿入してください。

ディスプレイに「SD」と表示され、ファイルブラウザ（ファイル/フォルダー一覧画面）が表示されます。

データ（MP3 P48 **、JPEG** P51 **）の再生のしかたについては各説明ページをご覧ください。**

ディスクがセットされている場合は

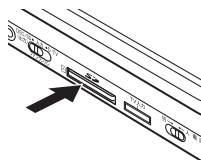
SDモードにするには、SDカードをセットしたあと、**DISC/SD**ボタンを押してください。

SDカードを取り出す

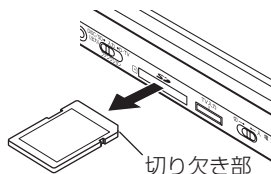
ご注意

- SDカードのロード中、再生中または動作終了直後にSDカードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。データが破損することがあります。
- 取り出すときは停止中か、電源が切れたあとでSDカードを取り出してください。

1 SDカードの中央部を押す

カチッと音がすると、ロックが解除されSDカードが押し出されます。

2 SDカードを引き抜く

操作中に「⊘」がディスプレイに表示されたときは、ディスク、SDカードまたは本機がその操作を禁止しています。

再生

MP3ファイルを再生する

データCD(CD-R、CD-RWなど)およびSDカードに記録されているMP3形式の音楽ファイルを再生することができます。

MP3ファイルの再生について

- ISO9660(レベル1、レベル2)フォーマットに準拠したディスクのみ対応しています。
- パケットライト形式、マルチセッション形式、Joliet形式、Romeo形式、HFS形式には対応していません。
- オーディオCDトラックとMP3ファイルが混在したCDはMP3のみ再生します。(シングルセッション時のみ)
- ファイル構成により、MP3ファイルを読み取るのに1分以上かかる場合があります。
- 高品質の音質を得るには44.1kHzのサンプリング周波数、128kbps以上のビットレートでの記録をお勧めします。
- ファイル名、フォルダー名は半角英数字と“_”(アンダースコア)、“-”(ハイフン)で入力されている場合のみ表示されます。それ以外の文字は正しく表示されません。(日本語は表示されません)
- 読み込み可能なファイル数は最大600まで対応しています。ただし、読み込み可能なファイル数はライタソフトやデータの容量により異なることがあります。また、フォルダ構造によって全てのファイルが認識できない場合があります。
- 読み込み可能なフォルダー数は299までの対応です。300を超えるフォルダーは再生できない場合があります。
- MP3 CDおよびSDカードは、記録された順序で再生できないことがあります。また、記録状態により音飛びが発生したり、再生できないこともあります。
- MP3のID3タグには対応していません。
- MP3作成のエンコードソフトによって、曲の前後や曲にノイズが入ることや再生できないことがあります。なお、エンコードソフトやエンコード操作などのパソコン操作に関しては、対応いたしかねます。

<MP3>

- MP3形式のファイルで拡張子「.mp3」または「.MP3」が付加されているファイルを再生できます。
- MP3形式ファイルのサンプリング周波数とビットレート
  44.1kHz、48kHz、32kbps～320kbps(固定または可変のビットレート)
- MPEGオーディオレイヤー3のみ対応しています。

MP3ファイルを再生する

この操作はデータCDおよびSDカードを再生するときの基本操作です。

1 ディスクの場合は、「ディスクを再生する」 **P35** **の1～4の手順でディスクをディスクテーブルに置き、ディスクカバーを閉める**

SDカードの場合は、「SDカードを再生する前に」 **P47** **の1～2の手順でSDカードを挿入する**

ディスプレイにファイルブラウザ(ファイル/フォルダー一覧画面)が表示され、最初のフォルダーの音楽ファイル/フォルダー一覧画面が表示されます。

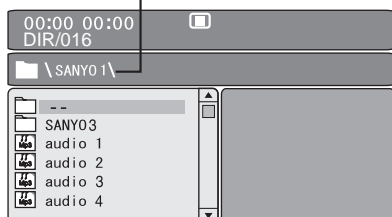
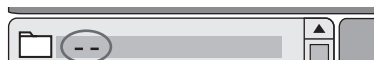
(例:)

サブフォルダー　プレイ状態

00:00 00:00
DIR/012
\
SANY01
SANY02
audio 1
audio 2
audio 3
audio 4

ファイル　ステータス

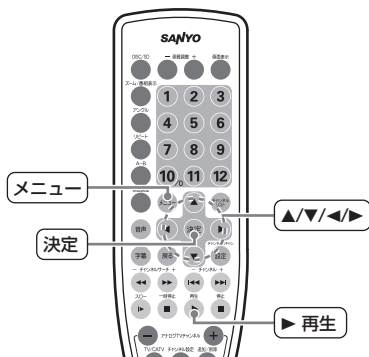
- SDカード選択時は、ステータス欄に「SD」と表示されます。
- ディスクとSDカードの両方を入れているときは、DISC/SDボタンを押すことで切り換えができます。

2 ▲/▼/◀/▶（方向）ボタンを押して、再生したいファイルのあるフォルダーを選ぶ

- ボタンを押すたびに、次または前のフォルダー、またはファイルへ移動します。
- フォルダー内のサブフォルダーを選ぶときは対象のサブフォルダーを選択したあと、**決定**ボタンまたは ▶（方向）ボタンを押すとサブフォルダーの内容が表示されます。
- ◀（方向）ボタンを押すか、「_ _」の表示されたフォルダーを選択したあと、**決定**ボタンを押すと、前のフォルダー画面に戻ることができます。

3 ▲/▼（方向）ボタンを押して、再生したいファイルを選ぶ

4 決定または ▶ 再生ボタンを押す

選択したファイルを再生したあと、以降の曲が順に再生されます。

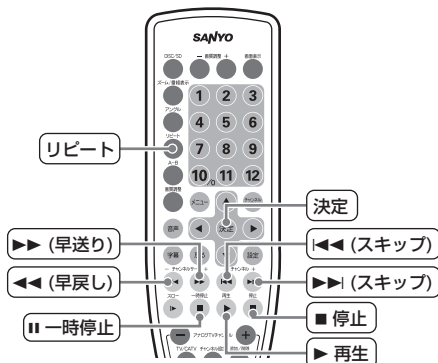
- ディスプレイのプレイ状態欄に「 ▶ 」が表示され、再生中のファイル名またはフォルダー名が表示されます。

最後の音楽ファイルの再生が終わると自動的に止まり、プレイ状態欄に「■」が表示されます。

ちょっとこれを！

- 1枚のディスクおよびSDカードにMP3形式の音楽ファイルとJPEG形式の画像ファイルが記録されている場合にMP3を選択して再生すると、JPEG形式のファイルは自動的にスキップされて再生されます。
- 1枚のディスクおよびSDカードにMP3形式の音楽ファイルとJPEG形式の画像ファイルが記録されている場合、再生しているファイルの次または前のファイルがJPEGファイルの場合にスキップすると、JPEGのスライドショー再生になり、スキップ機能ではMP3再生には戻りません。
  この場合にJPEG再生を止めるには、**メニュー**ボタンを押し、次に ▲(方向)ボタンを押してください。
- MP3再生には、レジューム機能はありません。

操作中に「 ⃠ 」がディスプレイに表示されたときは、ディスク、SDカードまたは本機がその操作を禁止しています。

再生

MP3ファイルを再生する

一時停止する

再生中に、❙❙ 一時停止ボタンを押す

ディスプレイのプレイ状態欄に「❙❙」が表示され、再生中のファイルが一時停止します。

通常の再生に戻すときは

▶ **再生**または**決定**ボタンを押します。

再生を止める

■ 停止ボタンを押す

ディスプレイのプレイ状態欄に「 ■ 」が表示され、再生中のファイルが停止します。

ファイルをとび越す/頭出しする(スキップ)

次のファイルへ進むには

再生中に、▶▶❙ (スキップ)ボタンを押します。次のファイルの頭から再生します。

前のファイルへ戻るには

再生中に、❙◀◀ (スキップ)ボタンを押します。1つ前のファイルの頭から再生します。

ちょっとこれを！

● 同一のフォルダー内でのみファイルのとび越し、または頭出し(スキップ)をすることができます。

早送り、早戻しする(サーチ)

再生中に、▶▶ (早送り)または ◀◀ (早戻し)ボタンを押す

● 詳しくは、「早送り、早戻しする(サーチ)」 P43 をご覧ください。

通常の再生に戻すとき

▶ **再生**または**決定**ボタンを押します。

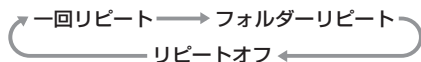
ちょっとこれを！

● 早送り中に最終曲の最後になると、再生が停止します。また、早戻し中に最初の曲の頭になると、曲の頭から再生が始まります。

くり返し再生する

再生または停止中に、リピートボタンを押して、リピートモードを選ぶ

押すたびに、以下のように切り換わります。

一回リピート → フォルダーリピート → リピートオフ → (一回リピートに戻る)

ディスプレイ画面	動作
一回リピート	再生中のファイルを繰り返す
フォルダーリピート	フォルダ内の全ファイルを繰り返す
リピートオフ	リピート再生取り消し フォルダーの最後のファイルを再生すると、停止する

● 再生前にくり返しを選んだときは、▶ **再生**または**決定**ボタンを押して再生を始めます。

通常の再生に戻すには

「リピートオフ」が表示されるまで、**リピート**ボタンをくり返し押します。

ちょっとこれを！

● 電源を切/入したり、ディスクカバーを開閉すると、リピート再生は解除されます。

JPEGファイルを再生する

データCD(CD-R、CD-RWなど)およびSDカードに記録されているJPEG形式の画像ファイルを再生することができます。

JPEGファイルの再生について

- ISO9660(レベル1、レベル2)フォーマットに準拠したディスクのみ対応しています。
- パケットライト形式、マルチセッション形式、Joliet形式、Romeo形式、HFS形式には対応していません。
- JPEG形式のファイルで拡張子「.jpg」が付加されているファイルを再生できます。他の画像形式のファイルや「.jpeg」、「.bmp」、「.tif」などの異なる拡張子が付いたファイルは再生できません。
- オーディオCDトラックとJPEGファイルが混在したCDはJPEGのみ再生します。(シングルセッション時のみ)
- ファイル構成により、JPEGファイルを読み取るのに1分以上かかることがあります。
- ファイル名、フォルダー名は半角英数字と"_"(アンダースコア)、"–"(ハイフン)で入力されている場合のみ表示されます。それ以外の文字は正しく表示されません。(日本語は表示されません)
- 読み込み可能なファイル数は最大600まで対応しています。ただし、読み込み可能なファイル数はライタソフトやデータの容量により異なることがあります。また、フォルダ構造によって全てのファイルが認識できない場合があります。
- 読み込み可能なフォルダー数は299までの対応です。300を超えるフォルダーは再生できない場合があります。
- ファイルサイズが大きい場合は、ディスプレイに表示されるまで時間がかかることがあります。
- 画像の解像度は3072×2048まで表示可能です。
- JPEG CDおよびSDカードは、記録された順序で再生できないことがあります。また、記録状態により再生できないこともあります。
- Motion JPEGなどのファイルは再生できません。

操作中に「⊘」がディスプレイに表示されたときは、ディスク、SDカードまたは本機がその操作を禁止しています。

JPEGファイルを再生する

この操作はデータCDおよびSDカードを再生するときの基本操作です。

1 ディスクの場合は、「ディスクを再生する」 **P35** **の1～4の手順でディスクをディスクテーブルに置き、ディスクカバーを閉める**

SDカードの場合は、「SDカードを再生する前に」 **P47** **の1～2の手順でSDカードを挿入する**

ディスプレイにファイルブラウザ(ファイル/フォルダー一覧画面)が表示され、最初のフォルダーの画像ファイル/フォルダー一覧画面が表示されます。

(例:)

- SDカード選択時は、ステータス欄に「SD」と表示されます。
- ディスクとSDカードの両方を入れているときは、DISC/SDボタンを押すことで切り換えができます。

再生

JPEGファイルを再生する

2 ▲/▼/◀/▶（方向）ボタンを押して、見たい画像ファイルのあるフォルダーを選ぶ

- ボタンを押すたびに、次または前のフォルダー、またはファイルへ移動します。
- フォルダー内のサブフォルダーを選ぶときは対象のサブフォルダーを選択したあと、**決定**ボタンまたは ▶（方向）ボタンを押すとサブフォルダーの内容が表示されます。
- ◀（方向）ボタンを押すか、「_ _」の表示されたフォルダーを選択したあと、**決定**ボタンを押すと、前のフォルダー画面に戻ることができます。

ちょっとこれを！

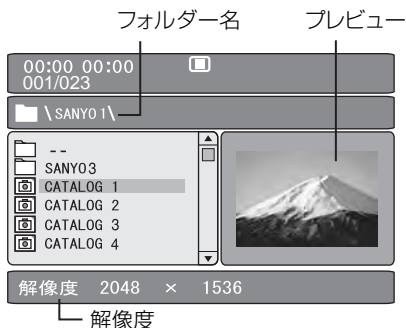
- １枚のディスクおよびSDカードにMP3形式の音楽ファイルとJPEG形式の画像ファイルが記録されている場合にJPEGを選択して再生すると、MP3形式のファイルは自動的にスキップされて再生されます。

3 ▲/▼（方向）ボタンを押して、再生したいファイルを選ぶ

選択した画像ファイルのプレビューがプレビュー欄に表示され、解像度がステータス欄に表示されます。

フォルダー名　プレビュー

00:00 00:00
001/023
\SANYO1\
- -
SANYO3
CATALOG 1
CATALOG 2
CATALOG 3
CATALOG 4
解像度 2048 × 1536

解像度

- 解像度の数字が大きいファイルほど、他の機器に出力した画面表示はきれいになります。

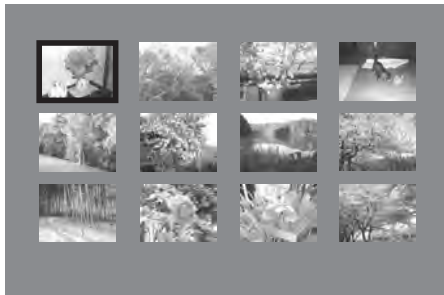
4 決定または ▶ 再生ボタンを押す

選択した画像と以降の画像を順にスライドショー再生します。

- 最後の画像ファイルの再生が終わると自動的に止まり、ファイルブラウザ画面に戻ります。

スライドショー再生を途中で止める

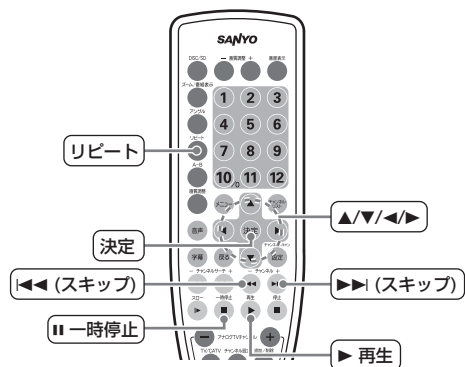
メニューボタンを押す

スライドショー再生が停止し、サムネイル（縮小画像一覧）が表示されます。

再びスライドショー再生を始めるには

◀/▶（方向）ボタンを押して、見たい画像を選び、▶ **再生**または**決定**ボタンを押します。

ファイルブラウザ（ファイル一覧画面）に戻るには

▲（方向）ボタンを押します。

つづく

一時停止する

スライドショー再生中に、II 一時停止ボタンを押す

ディスプレイに「II」が表示され、再生中のファイルが一時停止します。

通常のスライドショー再生に戻すときは

▶ **再生**または**決定**ボタンを押します。

画像を切り換える(スキップ)

次のファイルへ進むには

スライドショー再生中に、▶▶| (スキップ)ボタンを押します。
ディスプレイに「 ▶▶| 」が表示され、次のファイルを再生します。

前のファイルへ戻るには

スライドショー再生中に、|◀◀ (スキップ)ボタンを押します。
ディスプレイに「 |◀◀ 」が表示され、再生中のファイルの1つ前のファイルを再生します。

ちょっとこれを!

- 同一のフォルダー内でのみファイルを切り換えることができます。

くり返し再生する

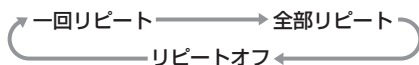
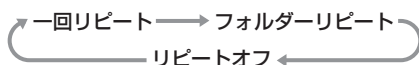
再生または停止中に、リピートボタンを押して、リピートモードを選ぶ

押すたびに、以下のように切り換わります。

例: スライドショー再生・サムネイル表示時に押した場合

一回リピート → 全部リピート → リピートオフ →(一回リピート)

例: ファイルブラウザ表示時に押した場合

一回リピート → フォルダーリピート → リピートオフ →(一回リピート)

ディスプレイ画面	動作
一回リピート	スライドショー再生中のファイルをくり返し表示する
全部リピート フォルダーリピート	フォルダ内の全ファイルをくり返す
リピートオフ	リピート再生取り消し フォルダーの最後のファイルを再生すると、停止する

- 再生前にくり返しを選んだときは、▶ **再生**または**決定**ボタンを押して再生を始めます。

通常の再生に戻すには

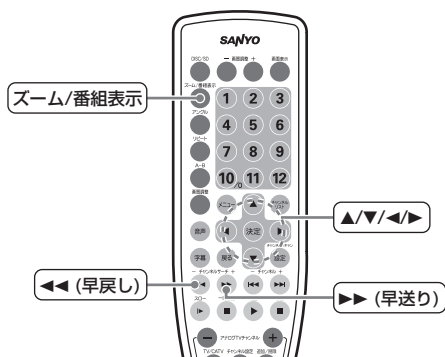
「リピートオフ」が表示されるまで、**リピート**ボタンをくり返し押します。

ちょっとこれを!

- 電源を切/入したり、ディスクカバーを開閉すると、リピート再生は解除されます。

操作中に「 ⊘ 」がディスプレイに表示されたときは、ディスク、SDカードまたは本機がその操作を禁止しています。

再生

JPEGファイルを再生する

画像を拡大・縮小する(ズーム)

画像を拡大または縮小表示することができます。

1 **スライドショー再生または一時停止中に、ズーム/番組表示ボタンを押す**

「ズーム100%」と表示されます。

- 画像読み込み中は、**ズーム/番組表示**ボタンは無効です。

2 **画像を拡大するときは、▶▶（早送り）ボタン、画像を縮小するときは、◀◀（早戻し）ボタンを押す**

▶▶（早送り）ボタン：
元の画像サイズ（100%）→125%→150%→200%
◀◀（早戻し）ボタン：
元の画像サイズ（100%）→75%→50%
に拡大・縮小表示します。

3 **▲/▼/◀/▶（方向）ボタンを押して、拡大部分を移動させる**

- 画面の端までくると移動が止まります。

元の画面サイズに戻すには

元の画面サイズ（100%）に戻るまで ▶▶（早送り）または ◀◀（早戻し）ボタンを押します。

通常のスライドショー再生に戻るには

ズーム/番組表示ボタンを押します。

画像を回転する

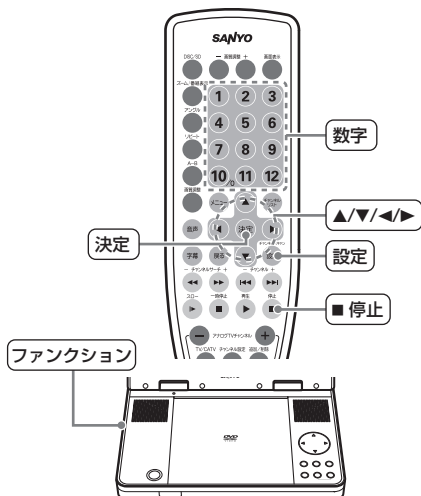
スライドショー再生または一時停止中に、▼（方向）ボタンを押す

ディスプレイに「回転」が表示され、押すたびに、画像が時計回りに90˚回転します。

操作中に「⊘」がディスプレイに表示されたときは、ディスク、SDカードまたは本機がその操作を禁止しています。

システム設定

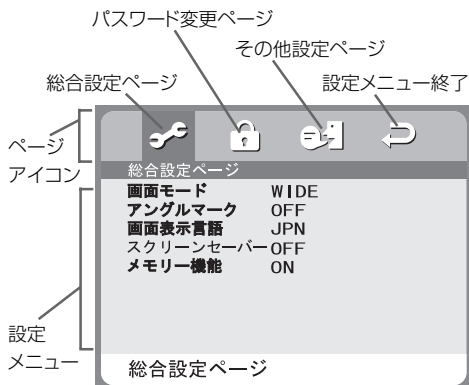
つづく

<各種設定はディスク情報が優先されます>

システム設定画面では、本機にさまざまな設定ができます。

システム設定画面を表示する

1 **本体左側面のファンクションスイッチを「DISC/SD(出力)」にする** P21

2 **設定ボタンを押す**

システム設定画面が表示されます。

3 **◀/▶(方向)ボタンで設定したいページのアイコンを選び、決定ボタンを押す**

選んだ設定ページに切り換わります。

- ▼(方向)ボタンを押して、選んだ設定ページに切り換えることもできます。

もう一度◀(方向)ボタンを押すと、手順 **2** に戻って選び直すことができます。

4 **▲/▼(方向)ボタンで項目を選び、▲/▼/◀/▶(方向)ボタンや数字ボタン、決定ボタンを使って設定する**

各設定項目は以下のページをご覧ください。

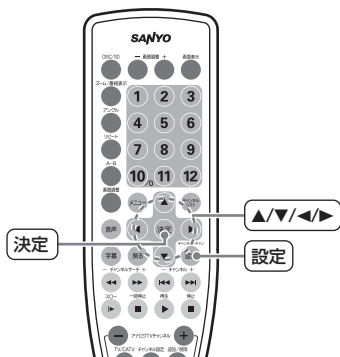
- 総合設定ページ P56
- パスワード変更ページ P59
- その他設定ページ P60

システム設定画面を消すには

手順 **3** で**設定**ボタンをもう一度押します。
「設定メニュー終了」を選択して**決定**ボタンを押しても、システム設定画面は消えます。

ちょっとこれを!

- ディスクおよびSDカードの再生中や一時停止中、レジューム停止中は、「その他設定ページ」は選択できません。■ **停止**ボタンを2度押して完全に停止させてから操作してください。

システム設定

総合設定ページ

■ 画面モード

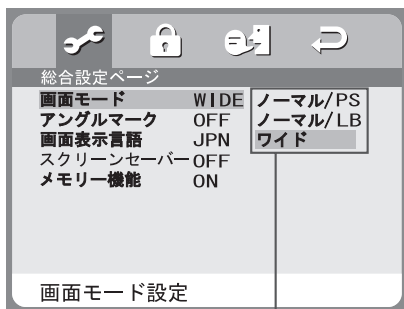
外部出力するときに接続するテレビに合わせて、出力する画面のサイズを設定します。

1 P55 **手順3で、「総合設定ページ」のアイコンを選び、決定ボタンを押す**

2 ▲/▼ （方向）ボタンを押して、設定メニューの「 画面モード」を選ぶ

「画面モード」が選択され、設定項目が表示されます。

3 ► (方向)または決定ボタンを押して、設定項目に選択を移動する

設定項目が選択されます。

設定項目

4 ▲/▼ (方向)ボタンを押して、設定を選ぶ

ノーマル/PS、ノーマル/LB、ワイドから選びます。

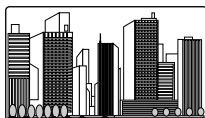
ノーマル/PS(パンスキャン):

通常のテレビ(4:3)に接続したときに選択してください。パンスキャンに対応したワイド画面(16:9)のディスクを再生したとき、ワイド画面の一部をカットして再生します。パンスキャンに対応しないワイド画面(16:9)のディスクではレターボックスで再生します。

ノーマル/LB(レターボックス):

通常のテレビ(4:3)に接続したときに選択してください。ワイド画面(16:9)のディスクを再生したとき、レターボックス(上下に黒い帯のある画面)で再生します。

ワイド:

ワイドテレビ(16:9)に接続したときに選択してください。ワイド画面(16:9)のディスクを再生したとき、フル画像で再生します。ワイドテレビの表示モードで「フル」を選択してください。

5 決定ボタンを押して、設定を確定する

選択した設定に変更されます。

6 設定ボタンを押す

システム設定画面が消えます。

ちょっとこれを!

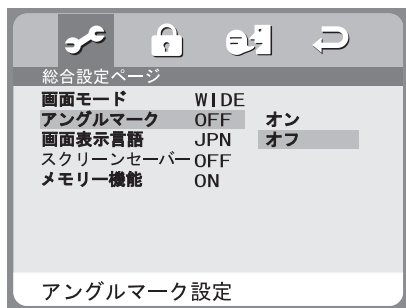
- テレビに映し出される映像は、ソフトの種類や接続するテレビによって異なります。

つづく

■ アングルマーク

マルチアングルDVDを再生しているときに表示されるアングルマークの表示/非表示を設定します。

画面モードの手順1～6 P56 と同様に設定をおこないます。

オンまたはオフから選びます。

オン:

アングルマークを常に表示。

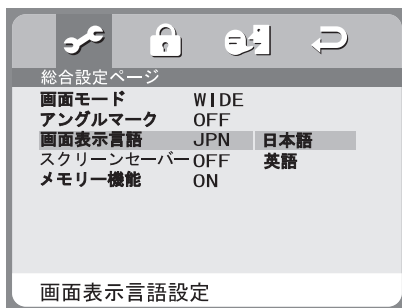
オフ:

アングルボタンを押したときのみアングルマークを表示。

■ 画面表示言語

システム設定画面および、ディスプレイに表示される言語を設定します。

画面モードの手順1～6 P56 と同様に設定をおこないます。

日本語または英語から選びます。

日本語:

本機の表示言語を、日本語に設定します。

英語:

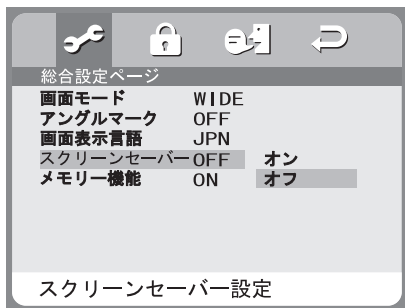
本機の表示言語を、英語に設定します。

システム設定

■ スクリーンセーバー

ファンクションスイッチが「DISC/SD（出力）」に設定されている時に、ディスクやSDを再生していない状態または一時停止状態で、約5分間本体またはリモコンを操作しない場合に、画面の焼付きを防ぐ設定をすることができます。（焼付き防止を保証するものではありません。）

画面モードの手順1〜6 P56 **と同様に設定をおこないます。**

オンまたはオフから選びます。

オン：

スクリーンセーバーは停止状態で約5分後に働きます。本体もしくはリモコンの操作ボタンを押すとスクリーンセーバーは解除されます。

オフ：

スクリーンセーバーは働きません。

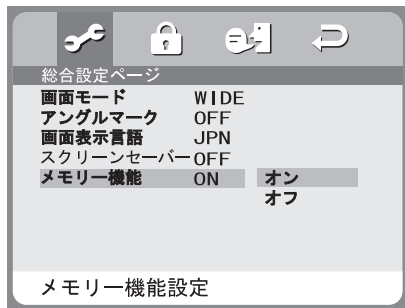
■ メモリー機能

メモリー機能とは、DVDやCDの再生中に誤って**電源**スイッチを「切」にしても、再び電源を「入」にすれば、最後に視聴していた位置から再生を再開することができる機能です。

同様に、再生中に誤ってディスクカバーを開いた場合も、再びディスクカバーを閉じれば、最後に視聴していた位置から再生を再開することができます。

ディスクの先頭からの再生を望まれるときは、メモリー機能を「オフ」に設定してお使いください。

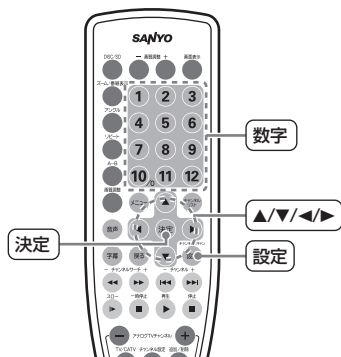
画面モードの手順1〜6 P56 **と同様に設定をおこないます。**

オンまたはオフから選びます。

オン： メモリー機能オン（工場出荷時）

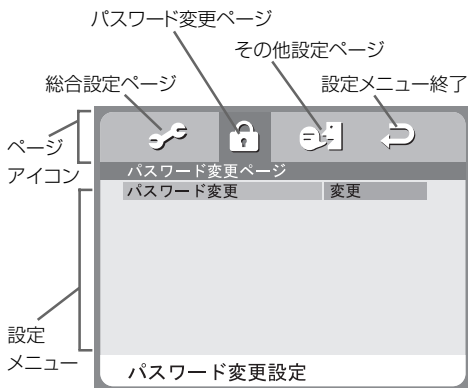
オフ： メモリー機能オフ

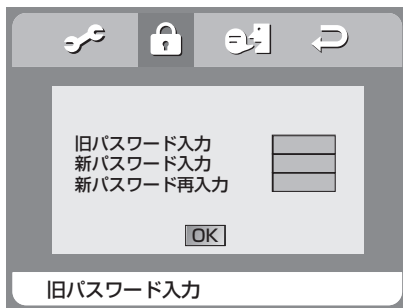
ちょっとこれを！

- メモリー機能「オン」で記憶したディスクを再生する場合、数秒程度前の位置から再生する場合があります。
- 完全に停止（■ **停止**ボタンを2回押す）したときは、メモリー機能は働きません。
- DVD-RW（VRモード）ディスクではメモリー機能は働きません。
- MP3とJPEGではこの機能は働きません。
- 違うディスクと入れ替えて再生すると、メモリーは消えます。

つづく

パスワード変更ページ

視聴制限（視聴年齢制限設定） P61 で必要になるパスワードの変更がおこなえます。

1 **P55 手順3で、「パスワード変更ページ」のアイコンを選び、決定ボタンを押す**

2 **決定ボタンを2度押す**

パスワード入力画面が表示され、画面下に「旧パスワード入力」と表示されます。

3 **数字ボタンで数字4桁の旧パスワードを入力する**

画面下に「新パスワード入力」と表示されます。

- 初期状態のパスワードは「3308」です。

4 **数字4桁の新パスワードを入力する**

画面下に「新パスワードを再入力」と表示されます。

5 **確認のため、もう一度数字4桁の新パスワードを入力する**

6 **決定ボタンを押す**

新しいパスワードに変更されます。

7 **設定ボタンを押す**

システム設定画面が消えます。

暗証番号を忘れたときは

初期設定のパスワード「3308」を入力します。

その他設定ページ

ご注意

- ディスクおよびSDカードが完全に停止していないと、その他設定ページは選択できません。

■ 音声言語

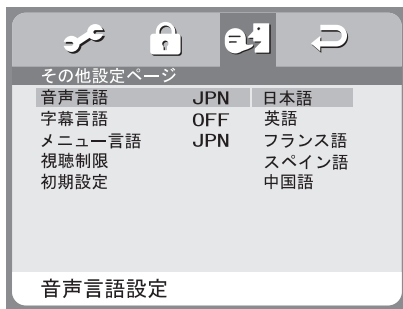
複数の音声が記録されている場合、希望の音声を選ぶことができます。

1 P55 **手順3で、「その他設定ページ」のアイコンを選び、決定ボタンを押す**

2 **▲/▼ （方向）ボタンを押して、設定メニューの「音声言語」を選ぶ**

「音声言語」が選択され、設定項目が表示されます。

3 **►（方向）または決定ボタンを押す**

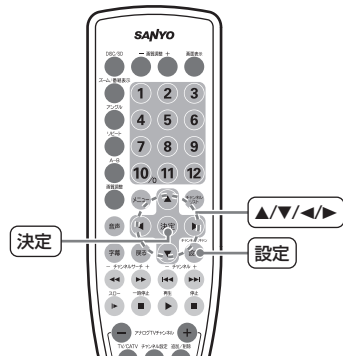
設定項目が選択されます。

4 **▲/▼（方向）ボタンを押して、設定を選ぶ**

設定したい言語を選びます。

5 **決定ボタンを押して、設定を確定する**

選択した設定に変更されます。

6 **設定ボタンを押す**

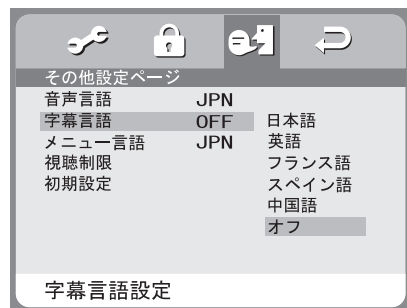
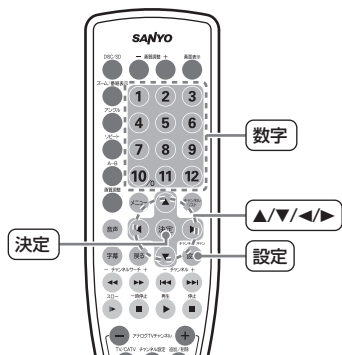
システム設定画面が消えます。

■ 字幕言語

複数の字幕が記録されている場合は、希望の字幕を選ぶことができます。また、字幕表示をオン/オフすることもできます。

左記の音声言語の手順1～6と同様に設定をおこないます。

設定したい言語を選びます。

オフ: 字幕非表示

つづく

■ メニュー言語

メニューの表示言語を設定します。

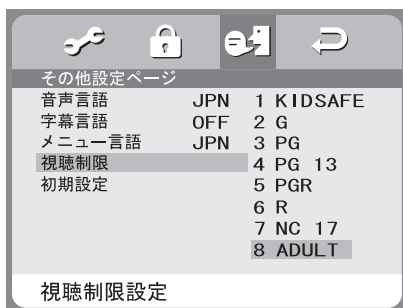
音声言語の手順1〜6 P60 と同様に設定をおこないます。

設定したい言語を選びます。

■ 視聴制限(視聴年齢制限設定)

暴力場面などを含むDVDディスクには、見る人の年齢によって視聴を制限できるようにレベル設定されているものがあります。
本機では、どのレベルまで再生できるかを設定できます。適切な制限レベルは実際にお客さまご自身で動作させてご確認ください。

音声言語の手順1〜6 P60 と同様に設定をおこないます。

設定したいレベルを選びます。

1　2　3　4　5　6　7　8

制限大　⟷　制限小

8 ADULT：視聴制限なし。

手順**5**で**決定**ボタンを押すとパスワード入力画面が表示されますので、**数字**ボタンでパスワードを入力して**決定**ボタンを押してください。

暗証番号を忘れたときは

初期設定のパスワード「3308」を入力します。

システム設定

■ 初期設定

DVDのシステム設定値を工場出荷時の設定値に戻します。「視聴制限」のパスワードは初期化されませんのでご注意ください。

ご注意

ワンセグ情報(チャンネルリスト、音声多重、字幕など)は、初期化されません。

音声言語の手順1～5 P60 と同様に設定をおこないます。

手順**5**で**決定**ボタンを押すと、システム設定画面が消えます。

ちょっとこれを!

- 設定した言語がディスクにないときは、記録されている言語のいずれかが選ばれます。
- ディスクによっては設定を変更できない場合があります。

故障？ その前にちょっとこれを！

つづく

修理を依頼される前に、もう一度次の項目をお確かめください。

全般（電源について）

症　状	原　因	処　置	参照ページ
電源が入らない	電源アダプター、またはカーバッテリーアダプターが抜けている	コンセントに電源アダプター、またはカーバッテリーアダプターをしっかり差し込む	18
	バッテリーパックがはずれている/充電できていない	バッテリーパックを取り付ける/充電する	19、20
電源を入れてもすぐに切れる	本機が落雷や過度の静電気など、外部からの強い電気ショックを受けている	本機の電源を切り、電源アダプターを抜いて、約30秒経ってから差し込みなおして、電源を入れる	18
本機が正常に作動しない	内部マイコンが外部電気ショック(落雷または過度の静電気)、または電源電圧の低下によってフリーズしている	コンセントから電源アダプターを抜き、バッテリーパックもはずして約5秒後にもう一度差し込む	18
画面が激しくちらつくノイズが出る	バッテリーパックでの動作モードで、充電池の残量がなくなっている	DC9V電源端子に電源アダプターを差し込む	18

映像について

症　状	原　因	処　置	参照ページ
画像が出ない	**[外部機器への出力の場合]** AVコードがしっかりと接続されていない	AVコードをしっかりと差し込む	16
電源を切にしたとき、ディスプレイにしばらく残像や横線があらわれる	液晶の特性によるものです	故障ではありません（数分間放置すると消えます）	−

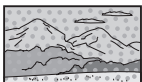
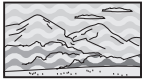
音声について

症　状	原　因	処　置	参照ページ
音声が出ない	音量が下がっている	音量を調節する	22
	本機で再生できないCD-ROMなどを再生している	本機で再生可能な信号のディスクを再生する	10、11、12
	DTS音声を選択している	DVDメニューでDTS音声の選択を解除する	39
デジタル機器や高周波機器から雑音が出る	本機がデジタル機器または高周波機器に接近しすぎている	本機をそれらの機器から離して設置する	−
音声が途切れる	電気雑音の発生しやすいところで使用している	設置場所を変えてみる	−

ディスクおよびSDカード再生について

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
画像や音声が出ない	**ファンクション**スイッチが「入力」または「D-TV」側にある	**ファンクション**スイッチを「DISC/SD（出力）」側にする	21
画像がきれいに映らない	ディスクが汚れているまたは傷がある	ディスクをきれいにする、またはディスクを交換する	8、9
早送り／早戻しのとき画像が乱れる	多少乱れが出ることがあります	故障ではありません	—
再生が始まらない（または、すぐに停止する）	ディスクおよびSDカードが入っていない（「ディスクを入れて下さい」を表示）	ディスクおよびSDカードを入れる	35、47
	本機で再生できないディスクおよびSDカードが入っている（「不明ディスク」を表示）	再生できるディスクおよびSDカードの種類や、テレビ方式を確認する	10、11、12
	ディスクを裏返しに入れている（「ディスクを入れて下さい」を表示）	ディスクの再生面を下にして入れる	35
	ディスクがななめに入っている（「ディスクを入れて下さい」を表示）	ディスクをディスクテーブルの中央のホルダーにしっかりとはめ込む	35
	ディスクが汚れている、または傷がある（「ディスクを入れて下さい」を表示）	ディスクをきれいにする、またはディスクを交換する	8、9
	システム設定画面が表示されている	**設定**ボタンを押して画面表示を消す	55
	視聴年齢制限が設定されている	視聴年齢制限を解除、または規制レベルを変更する	61
	リージョンコードが違っている（「地域コードが間違っています」を表示）	リージョンコード2、もしくはALLのディスクを入れる	11
	寒いところから急に暖かいところに持ってきて、レンズ部に露が付いている	2～3時間放置する	8
	ディスクおよびSDカードに読み込みできない記録データが入っている	読み込みのできる記録データが入っているか確認する	—
	再生しようとしているフォルダー数が300を超えている	再生するフォルダー数が299以下のものに取り替える	48、51
音声/字幕が切り換えられない	複数の音声/字幕が入っていないディスクでは切り換えできません	故障ではありません	—
	音声/字幕切り換え操作では切り換えできないディスクでも、メニュー画面等で切り換えできる場合があります	故障ではありません	—

ディスクおよびSDカード再生について

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
字幕が出ない	字幕の入っていないDVDでは字幕が表示されません	故障ではありません	－
	字幕が「オフ」になっている	字幕を設定する	46、60
アングルを変えて見ることができない	複数のアングルが記録されているディスクでのみ切り換えできます	故障ではありません	45
各ボタン操作ができない	ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合がある（「⊘」を表示）	故障ではありません	－
ビデオやレコーダーで録画できない	映画ソフト等の市販・レンタルDVDや、「1回だけ録画可能」なデジタル放送番組を記録したディスクはコピー禁止処理がされていて、録画できません	故障ではありません	－
ＭＰ３のディスクおよびSDカードが再生できない	対応フォーマットまたは条件が合っていない 、あるいは記録状態が悪い	対応フォーマットまたは条件に合うディスクおよびSDカードや記録状態の良いディスクおよびSDカードに交換する	48
ＭＰ３のディスクおよびSDカードで読み込み時間がかかりすぎる	入力されているファイル名が長すぎていたり、ファイル構成による場合がある	故障ではありません	48
JPEGを再生したあとに同じディスクおよびＳＤカードに入っているMP3が再生できない	MP3とJPEGが１枚のディスクおよびＳＤカードに入っている場合、JPEG再生後にMP3は再生できません	故障ではありません	49
ＤＶＤ再生中に画像が乱れる、または暗い	本機ではアナログコピープロテクト方式のコピーガードにも対応しています。そのため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、外部出力するテレビによっては一部画像に縞模様があらわれる	故障ではありません	－
DVDとCDのディスクによる音量差を感じる	一般的にDVDよりもCDの方が記録レベルが高い	故障ではありません	－
JPEGファイルが再生できない	拡張子が「.jpeg」になっている	拡張子が「.jpg」のファイルを使う	51
	対応フォーマットまたは条件が合っていない 、あるいは記録状態が悪い	対応フォーマットまたは条件に合うディスクおよびSDカードや記録状態の良いディスクおよびSDカードに交換する	51

不明ディスクおよび再生動作が不安定な場合

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
再生しない	再生ディスクのディスク面が汚れているか傷が付いている	ディスクをきれいにするかディスクを交換する	9
	DVDレコーダーにて、映像を記録したあとに、ファイナライズ処理をおこなっていない	記録したDVDレコーダーの使用方法に従い、ファイナライズ処理をおこなってください（VRモードで録画したディスクについてもファイナライズが必要です）	10

リモコンについて

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
リモコンが働かない	リモコンが受光部に向いていない	リモコンの送信部を本体の受光部に向ける	23
	リモコンと受光部の間が遠すぎる	約4m以内のところで操作する	23
	リモコンと受光部の間に障害物がある	障害物を取り除く	23
	リモコンの電池が消耗している	電池を交換する	23
	本体のリモコン受光部に直射日光や照明（インバーター蛍光灯など）が当たっている	照明、または本体の向きを変える	23

テレビについて(ワンセグ放送)

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
SANYOロゴのみ出る	**ファンクション**スイッチが「DISC/SD(出力)」側にある	**ファンクション**スイッチを「D-TV」側にする	21
映像や音声が途切れたりする	内蔵のアンテナを本体から引き出していない	内蔵のアンテナを引き出し、受信できるように立ててください	25
	内蔵のアンテナの向きが最適な方向でない	内蔵のアンテナの位置、高さ、方向などを変えてみてください	25
	アンテナケーブルが外部アンテナ端子からはずれている	アンテナケーブルを正しく接続してください	25
画像が乱れる	ワンセグ放送を受信する場合、画像が粗くなったり、映像の動きがなめらかでない場合があります	故障ではありません	–
画面に斑点が出る	自動車、オートバイ、電車、高圧線、ネオンサイン、電気掃除機、ヘアドライヤーなどから妨害電波を受けている	本機を原因になっているものからできるだけ離してください	–
色の付いた模様が出る	他のテレビやラジオ、パソコンファクシミリから出る妨害電波の影響を受けている	妨害を出しているものの電源を切ってみてください	–
字幕が出ない	字幕が「字幕なし」になっている	字幕を設定する	31
	字幕放送番組ではない	番組内容をご確認ください	–
音声を切り換えできない	音声多重放送番組ではない	番組内容をご確認ください	–

ご注意

ワンセグ放送の受信可能な地域であっても、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所や、電波の弱い場所、トンネル・地下・建物の中など電波の届かない場所では、ワンセグ放送が受信できないことがあります。

お願い

表示や動作に異常が生じたときは、本体の**電源**スイッチで一度電源を切り、再度電源を入れてください。
それでもなおらない場合は、電源を切って電源アダプターを抜き、バッテリーパックもはずし、数秒後もう一度差し込んで操作しなおしてください。(落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。)

用語解説

[CPRM]:Content Protection for Recordable Media
記録可能なメディアに関する著作権保護技術の一つで、これに対応した録画機とメディア(DVD-RWなど)を使って「コピーワンス放送」を録画することができます。対応ディスクには、パッケージに「CPRM対応」と表示されています。

[JPEG]
JPEGとは、写真などの画像ファイルを圧縮して保存する形式(画像フォーマット)のひとつで、ITU-TS(国際電気通信連合:旧CCITT)とISO(国際標準化機構)で定められたフォーマットです。JPEG形式の画像ファイルには「.jpg」という拡張子が付きます。拡張子とは、OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表す文字符号で、ピリオドと3文字のアルファベットで構成されています。デジタルカメラで撮った写真などもほとんどJPEG形式で保存されています。

[MP3]
MP3とは、MPEG1、MPEG2、MPEG2.5オーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮された音楽データです。「.mp3」または「.MP3」という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。

[MPEG]
Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは、映像圧縮および音声圧縮の国際標準です。DVDでは、この方式で映像を圧縮記録しています。

[マルチ音声]
DVDの中には、1枚のディスクの中に複数の音声が記録されているものがあります。DVDでは音声を最大8種類まで記録することができ、その中からお好きな音声を選んで楽しむことができます。

[マルチ字幕(サブタイトル)]
映画などでおなじみの字幕です。DVDでは字幕を最大32種類まで記録することができ、その中からお好きな字幕を選んで楽しむことができます。

[マルチアングル]
通常のテレビ番組などは、テレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラ位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは、数台のカメラで同時に撮影し、その中の一つを番組のディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っているわけですが、すべてのカメラの画像が同時に送られて視聴者側で視点(カメラ)を選べれば見たいところが見られるわけです。DVDには同時に複数のカメラで撮影したすべての画像が記録されているものがあり、プレーヤー側で視点を変えられるものがあります。これをマルチアングルディスクといいます。

[視聴年齢制限]
DVDディスクの中には、視聴者の年齢に合わせてディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。そのようなディスクを再生するときの規制レベルを本機で設定することができます。

[地上デジタル放送「ワンセグ」について]
P13 参照

[チャプター]
ディスクのタイトル内をいくつかのセクションで区切り、番号付けしたナンバーのことで、本の「章」番号に相当します。本機では、このチャプターナンバーが記録されていれば、希望のセクションを素早く見つけるチャプターサーチなどの操作ができます。

[リージョンコード]
DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能地域番号(リージョンコード)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。
本機のリージョン番号は「2」で、本体底面部に表示されています。

[リニアPCM(LPCM)]
Linear Pulse Code Modulationの略で音声の圧縮をおこなわないデジタル音声のことをいいます。

[レターボックス]
4:3のテレビと本機を接続し、ワイド(16:9)ソフトを再生したとき、上下に黒い帯のある画像で再生される機能です。

仕　様

本体部	
電源	AC 100V～240V 50/60 Hz (電源アダプター使用、コード長約1.8m)
消費電力	11W（待機消費電力　1.2W）
質量	約 930g （バッテリーパック含まず、本体のみ）
外形寸法	240（幅）×37（高さ）× 160（奥行）mm
スピーカー	28mm　円形（16 Ω）× 2
実用最大出力	0.2W＋0.2W
使用条件	温度：5℃～ 35℃
充電池	7.2V　ニッケル水素電池
連続使用時間	約4時間（ワンセグ連続視聴でヘッドホン使用、明るさ最少、フル充電時）
	約3時間30分（DVD連続再生でヘッドホン使用、明るさ最少、フル充電時）

端子部	
DC 入力	DC 9V　1.5A
ヘッドホン	適合インピーダンス 32 Ω× 1（ミニピンジャック）
映像・音声(アナログ)入出力 (入出力切換式)	VIDEO 出力：1Vp-p/75 Ω AUDIO 出力：1.8V RMS
TV 入力	テレビチューナー接続端子
外部アンテナ	75Ω不平衡

DVD/CDプレーヤー部	
信号方式	NTSC 方式
使用レーザー	半導体レーザー
音声周波数特性	DVD：4 Hz ～ 22 kHz、CD：4Hz ～ 20kHz
信号対雑音比（S/N 比）	90 dB 以上(JEITA)
全高調波ひずみ率	0.005%
ワウ・フラッタ	測定限界以下(JEITA)

液晶画面部	
型	9V 型
画面サイズ	約 198（幅）× 112（高さ）× 228（対角）mm
表示方式	透過型 TFT カラー液晶パネル
駆動方式	TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリクス駆動方式
画素数	1,152,000（横800×縦480×3（RGB））（有効画素率99.99%以上）
視野角 *	左右 140 度、上下 120 度
使用光源	内部光（蛍光管内蔵）

ワンセグチューナー部	
地上デジタル(ワンセグ放送)	UHF:13～62ch(データ放送 緊急警報放送の受信には対応していません。)
アンテナ	ホイップアンテナ

付属品	
リモコン（リチウム電池 CR2025 付き）. 1	ヘッドホン（インナーイヤー型）............................... 1
電源アダプター（コード長約 1.8m）......... 1	カーバッテリーアダプター（コード長約 1.7m 12V 車専用).. 1
AV コード（コード長約 1.7m）.................. 1	バッテリーパック 1
本書（取扱説明書・保証書付）.................... 1	アンテナ変換コード 1

＊ 視野角はあくまでも目安です。

● 仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。

保証書とアフターサービス

保証書[裏表紙にあります]について

- この商品には保証書がついています。お買い上げの際、販売店が発行します。
- 所定事項の記入をご確認のうえ内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
  なお、保証期間中でも有料になることがありますので、「無料修理規定」P75 をよくお読みください。

修理サービスについて

ご使用中に調子が悪くなったときは「故障？　その前にちょっとこれを!」P63~67 の一覧表に従って調べてください。なおらないときは、内部機構をさわらずに、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 保証期間中の修理は
  保証書の規定に従い、お買い上げの販売店が修理させていただきます。製品に保証書を添えてご持参ください。
- 保証期間経過後の修理は
  修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

ポータブルDVDプレーヤーの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについてご不明の場合は

お買い上げの販売店か、お近くの「お客さまご相談窓口」P71~74 にお問い合わせください。

- 転居される場合は
  ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合には、事前に販売店にご相談ください。
- ご贈答の場合は
  最寄りの三洋販売店か、または当社の「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

必ずお読みください

本機を使用中、万一不具合により再生･受信されなかった場合、再生･受信されなかったことによる損失の補償、または本機が使えなかったことによる付随的損害の補償については、ご容赦ください。

アフターサービスをお申しつけいただくときは、次のことをお知らせください

① **品番：**　DVD-HP900ND
② **症状：**　できるだけ詳しく

長年ご使用の機器の点検を ！

このような症状はありませんか？

- 電源アダプターやプラグが異常に熱い
- コゲくさい臭いがする
- 電源アダプターに深いキズや変形がある
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、電源アダプターをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

お客さまご相談窓口

■ まずはお買い上げの販売店へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。
転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電商品についての全般的なご相談 <三洋電機株式会社 お客さまセンター>

受付時間：(365 日) 9:00 ～ 18:30

総合相談窓口	050-3116-3434

※ 上記番号をご利用できない場合は**大阪(06)-6994-9570**におかけください。
※ 郵便またはFAXでご相談される場合
三洋電機株式会社 お客さまセンター 〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2-5-5
FAX:大阪(06)-6994-9510

家電商品の修理サービスについてのご相談 <三洋電機サービス株式会社>

受付時間：月曜日 ～ 金曜日 9:00 ～18:30
土曜・日曜・祝日・当社休日 9:00 ～17:30

修理相談窓口	東コールセンター	関東・甲信越地区	050-3116-2222 東京(03)5302-3401
		北海道地区	050-3116-2333
		東北地区	050-3116-2444
	西コールセンター	近畿・北陸・四国地区	050-3116-2555 大阪(06)4250-8400
		中部地区	050-3116-2666
		中国地区	050-3116-2777
		九州地区	050-3116-2888

沖縄地区	098-944-5018

(※) 沖縄地区の受付時間:月曜日～土曜日 9:00 ～12:00、13:00 ～17:30
(日曜、祝日及び当社休日を除く)

持込み修理および部品についてのご相談 <三洋電機サービス株式会社>

受付時間：月曜日～土曜日 9:00 ～17:30 (日曜、祝日を除く)

家電商品の持込み修理および部品のご相談については、各地区拠点(サービスセンター、サービスステーション)で承っております。最寄の拠点は別記一覧もしくは弊社ホームページでご確認ください。

■ 上記のご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

お客さまご相談窓口

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

< 利用目的>

● お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品･サービスに関わるご相談･お問い合せおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

< 業務委託の場合>

● 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理･監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細はホームページ http://www.sanyo.co.jp をご覧ください。

持込み修理および部品についてのご相談 　　　　**三洋電機サービス株式会社**

北 海 道 地 区				
北海道	札幌サービスセンター	(011)831-9201	〒003-0013	札幌市白石区中央三条4-1-36
	旭川サービスステーション	(0166)22-2421	〒070-0073	旭川市曙北三条7-3-3
	函館サービスステーション	(0138)48-8301	〒041-0824	函館市西桔梗町589-295
	釧路サービスステーション	(0154)22-1576	〒085-0035	釧路市共栄大通3-1-6
	北見サービスステーション	(0157)23-4871	〒090-0037	北見市山下町4-7-14

東 北 地 区				
青森県	青森サービスステーション	(017)729-3401	〒030-0141	青森市上野字山辺29-5
岩手県	盛岡サービスセンター	(019)623-1600	〒020-0824	盛岡市東安庭2-12-1
宮城県	仙台サービスセンター	(022)287-8351	〒984-0032	仙台市若林区荒井字丑ノ頭43-1
秋田県	秋田サービスステーション	(018)862-6551	〒011-0901	秋田市寺内イサノ93-1
山形県	山形サービスステーション	(023)641-1769	〒990-2331	山形市飯田西4-5-35
福島県	郡山サービスステーション	(024)945-6793	〒963-0107	郡山市安積3-120

つづく

関 東 ・ 甲 信 越 地 区

茨城県	水戸サービスステーション	(029)251-4125	〒311-4152	水戸市河和田3-2386-1
	つくばサービスステーション	(0298)64-4751	〒300-3261	つくば市花畑2-15-3
栃木県	宇都宮サービスステーション	(028)614-3883	〒321-0111	宇都宮市川田町字免ノ内765-5
群馬県	伊勢崎サービスステーション	(0270)40-7611	〒372-0003	伊勢崎市華蔵寺町87-1
埼玉県	さいたまサービスセンター	(048)778-3095	〒362-0025	上尾市上尾下780-1
	坂戸サービスステーション	(049)284-8900	〒350-0214	坂戸市千代田5-3-17
千葉県	千葉サービスセンター	(043)208-3800	〒260-0842	千葉市中央区南町3-7-15
	鎌ヶ谷サービスステーション	(047)441-0111	〒273-0105	鎌ケ谷市鎌ケ谷7-6-59
東京都	武蔵野サービスセンター	(042)364-7721	〒183-0033	府中市分梅町5-9-1
	城東サービスステーション	(03)5697-8160	〒120-0005	足立区綾瀬7-22-15 綾瀬7丁目ビル
	城北サービスステーション	(03)5914-3413	〒174-0051	板橋区小豆沢(アズサワ)1-23-10
	城西サービスステーション	(03)5347-0761	〒167-0032	杉並区天沼3-12-12 テック杉並
	相模原サービスステーション	(042)788-2760	〒194-0012	町田市金森851-3
神奈川県	横浜サービスセンター	(045)827-2831	〒244-0806	横浜市戸塚区上品濃9-14
新潟県	新潟サービスセンター	(025)285-2431	〒950-0942	新潟市中央区小張木2-16-43
山梨県	甲府サービスステーション	(055)226-2561	〒400-0035	甲府市飯田4-8-23

中 部・北 陸 地 区

富山県	富山サービスステーション	(076)422-7020	〒939-8211	富山市二口町1-13-8
石川県	金沢サービスセンター	(076)292-2060	〒921-8005	金沢市間明町2-100
福井県	福井サービスステーション	(0776)53-7134	〒910-0834	福井市丸山1-1002
長野県	松本サービスステーション	(0263)40-3411	〒390-0852	松本市島立1064-1
岐阜県	岐阜サービスステーション	(058)246-3417	〒501-6006	岐阜県羽島郡岐南町伏屋1-35
静岡県	静岡サービスセンター	(054)236-0691	〒422-8034	静岡市駿河区高松2-26-10
	沼津サービスステーション	(055)935-0501	〒410-0822	沼津市下香貫七面1152-2
	浜松サービスステーション	(053)461-8685	〒430-0812	浜松市南区本郷町123
愛知県	名古屋サービスセンター	(052)485-3620	〒453-0816	名古屋市中村区京田町2-1
三重県	津サービスステーション	(059)236-5195	〒514-0111	津市一身田平野285-2

近 畿 地 区

滋賀県	滋賀サービスステーション	(077)514-2221	〒524-0021	守山市吉身4-1-24 南井産業第3ビルB棟
京都府	京都サービスセンター	(075)645-1434	〒612-8427	京都市伏見区竹田真幡木町26-1
大阪府	大阪サービスセンター	(06)6992-6235	〒570-0086	守口市竹町4-13
	大阪南サービスステーション	(06)6761-4600	〒543-0001	大阪市天王寺区上本町5-1-14 三洋ビル2F
	阪和サービスステーション	(072)221-8571	〒590-0026	堺市堺区向陵西町2-1-24
兵庫県	神戸サービスセンター	(078)641-1251	〒653-0038	神戸市長田区若松町2-1-9 ピアザビル3F
	阪神サービスステーション	(06)6432-3401	〒661-0026	尼崎市水堂町4-17-6
	姫路サービスステーション	(0792)82-7892	〒670-0943	姫路市市之郷町1-9
	淡路サービスステーション	(0799)42-6015	〒656-0478	南あわじ市市福永536-1
奈良県	奈良サービスステーション	(0744)22-7888	〒634-0817	橿原市寺田町113-1
和歌山県	和歌山サービスステーション	(073)473-7112	〒640-8301	和歌山市岩橋1636-1

お客さまご相談窓口

中国地区

県	窓口	電話	郵便番号	住所
鳥取県	鳥取サービスステーション	(0857)24-2930	〒680-0843	鳥取市南吉方3-107
島根県	松江サービスステーション	(0852)23-1183	〒690-0044	松江市浜乃木2-15-3
岡山県	岡山サービスセンター	(086)245-1634	〒700-0973	岡山市下中野703-101
広島県	広島サービスセンター	(082)293-6511	〒733-0012	広島市西区中広町2-1-2
	福山サービスステーション	(084)954-4101	〒721-0952	福山市曙町4-22-10
山口県	山口サービスステーション	(083)973-3391	〒754-0024	山口市小郡若草町2-6

四国地区

県	窓口	電話	郵便番号	住所
徳島県	徳島サービスステーション	(088)699-4131	〒771-0219	徳島県板野郡松茂町 笹木野字八北開拓189-1
香川県	高松サービスセンター	(087)843-1840	〒761-0101	高松市春日町字片田1657-1
愛媛県	松山サービスステーション	(089)979-3486	〒799-2655	松山市馬木町274
高知県	高知サービスステーション	(088)831-2570	〒780-8007	高知市仲田町6-12

九州地区

県	窓口	電話	郵便番号	住所
福岡県	福岡サービスセンター	(092)928-3414	〒818-0061	筑紫野市紫6-1-1
	北九州サービスステーション	(093)521-5286	〒802-0004	北九州市小倉北区鍛冶町2-4-7
長崎県	長崎サービスステーション	(095)813-3545	〒851-0101	長崎市古賀町1006-5
熊本県	熊本サービスセンター	(096)388-3434	〒861-8045	熊本市小山3-2-11 熊本トラックターミナル内
大分県	大分サービスステーション	(097)543-3454	〒870-0829	大分市椎迫5-6組
宮崎県	宮崎サービスステーション	(0985)29-3441	〒880-0022	宮崎市大橋3-224
鹿児島県	鹿児島サービスステーション	(099)251-4615	〒890-0068	鹿児島市東郡元町11-10

沖縄地区

県	窓口	電話	郵便番号	住所
沖縄県	沖縄三洋販売株式会社 サービス部	(098)944-5018	〒903-0103	沖縄県中頭郡西原町小那覇1303

(010407J)

☆ 住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

無料修理規定

お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本書をご持参ご提示ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
   イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   ロ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
   ニ. 業務用としての使用、車両・船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
   ホ. 本書の提示がない場合。
   ヘ. 本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   ト. 消耗品の交換・仕様変更など。
2. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理をおこなった場合の出張料はお客さまの負担となります。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本書に記入の販売店に修理をご依頼になれない場合には、「お客さまご相談窓口」をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。 従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

- 保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間について詳しくは「保証書とアフターサービス」 P70 をご覧ください。

総合相談窓口

家電製品についての全般的なご相談は、下記の「総合相談窓口」へお問い合わせください。

相談受付時間

（365日） 9:00～18:30

総合相談窓口

050-3116-3434

※ 上記番号をご利用できない場合は、

大阪(06)6994-9570におかけください。

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店、または71～74ページのお客さま修理相談窓口にお問い合わせください。

891QW10010G--
（JP0）

三洋電機株式会社
オートモーティブカンパニー
〒574-8534　大阪府大東市三洋町1番1号